3　システムを利用するための準備をする

OBD 検査を実施するためには、事業場ごとにシステムの利用申請が必要です。本章に従って、事業場の利用申請を行った後、工員や検査員等の利用者を登録してください。

■事前に準備する必要があるもの

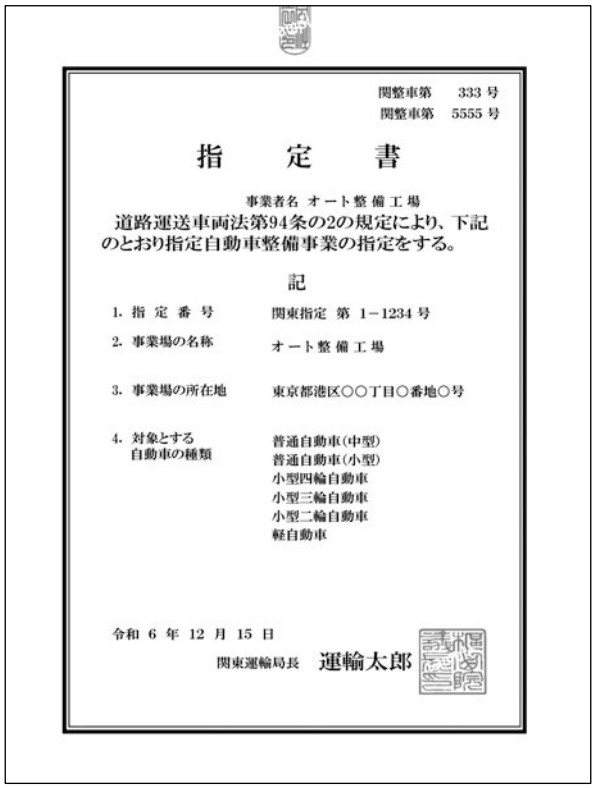
申請内容によって必要な書類が異なります。申請しようとする種類に応じて、以下に記載された書面の PDF または画像ファイル（JPEG 形式、PNG 形式）をあらかじめ準備しておいてください。

個別申請

個別申請する場合は、新たに申請しようとする事業場に対して以下の書面が必要です。

事業場種別	必要な書類
指定工場	指定書の写し（電子データ）
認証工場	認証書の写し（電子データ）

【指定書サンプル】



関整整第　333 号
関整整第　5555 号

指　定　書

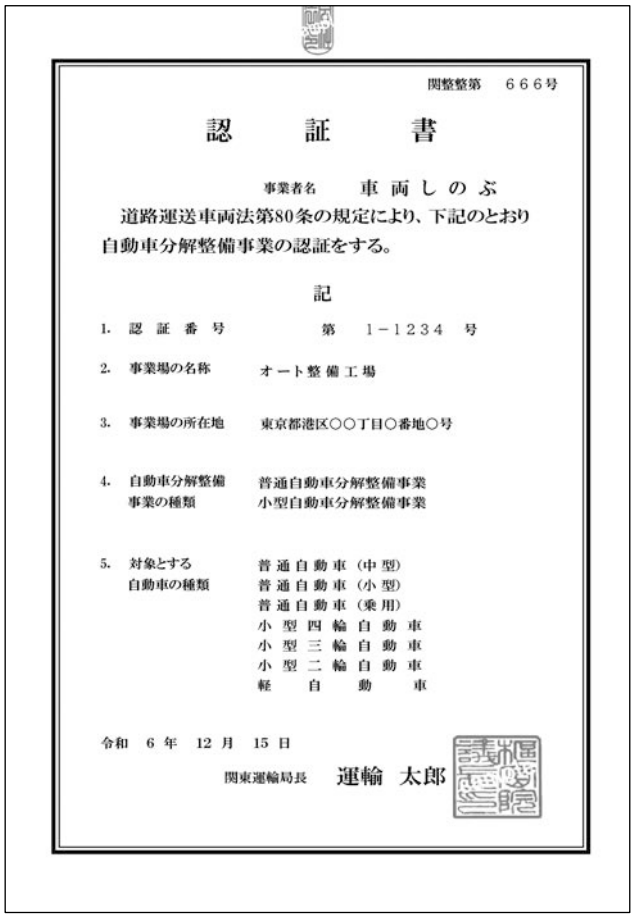
事業者名 オート整備工場
道路運送車両法第94条の2の規定により、下記のとおり指定自動車整備事業の指定をする。

記

1. 指定番号　関東指定 第 1−1234 号
2. 事業場の名称　オート整備工場
3. 事業場の所在地　東京都港区○○丁目○番地○号
4. 対象とする自動車の種類　普通自動車(中型)、普通自動車(小型)、小型四輪自動車、小型三輪自動車、小型二輪自動車、軽自動車

令和 6 年 12 月 15 日
関東運輸局長　運輸太郎

【認証書サンプル】



関整整第　666号

認　証　書

事業者名　車両しのぶ
道路運送車両法第80条の規定により、下記のとおり自動車分解整備事業の認証をする。

記

1. 認証番号　第 1−1234 号
2. 事業場の名称　オート整備工場
3. 事業場の所在地　東京都港区○○丁目○番地○号
4. 自動車分解整備事業の種類　普通自動車分解整備事業、小型自動車分解整備事業
5. 対象とする自動車の種類　普通自動車（中型）、普通自動車（小型）、普通自動車（乗用）、小型四輪自動車、小型三輪自動車、小型二輪自動車、軽自動車

令和 6 年 12 月 15 日
関東運輸局長　運輸 太郎

グループ申請

グループ申請する場合は、これからグループに所属する事業場の種別および事業場 ID の保有状況に応じて、以下の書面が必要です。

事業場種別	ケース	必要な書類
指定工場	すでに事業場 ID を発行している場合	同意書の写し（電子データ）
	事業場 ID を新たに申請する場合	• 指定書の写し（電子データ） • 同意書の写し（電子データ）
認証工場	すでに事業場 ID を発行している場合	同意書の写し（電子データ）
	事業場 ID を新たに申請する場合	• 認証書の写し（電子データ） • 同意書の写し（電子データ）

【指定書サンプル】

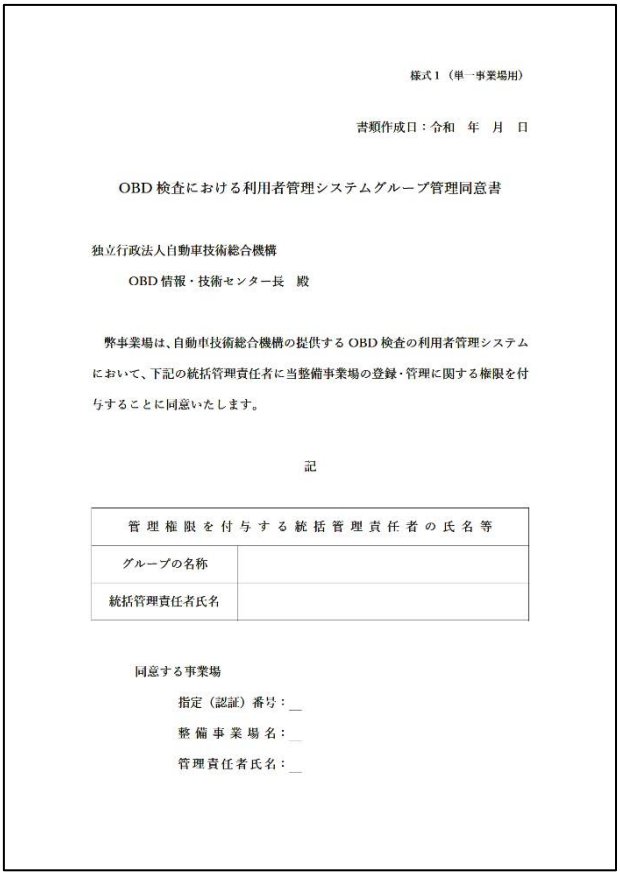
前ページを参照

【認証書サンプル】

前ページを参照

【同意書　様式１】

OBD 検査における利用者管理システムグループ管理同意書（単一事業場用）



様式1（単一事業場用）

書類作成日：令和　年　月　日

OBD 検査における利用者管理システムグループ管理同意書

独立行政法人自動車技術総合機構
OBD 情報・技術センター長　殿

弊事業場は、自動車技術総合機構の提供する OBD 検査の利用者管理システムにおいて、下記の統括管理責任者に当整備事業場の登録・管理に関する権限を付与することに同意いたします。

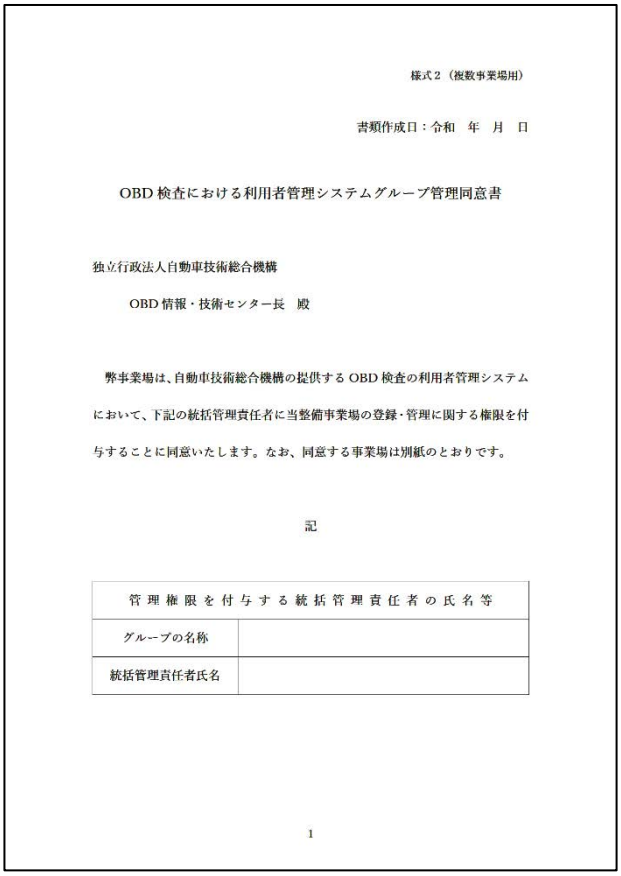
記

管理権限を付与する統括管理責任者の氏名等	
グループの名称	
統括管理責任者氏名	

同意する事業場
指定（認証）番号：__
整備事業場名：__
管理責任者氏名：__

【同意書　様式２】

OBD 検査における利用者管理システムグループ管理同意書（複数事業場用）



様式２（複数事業場用）

書類作成日：令和　年　月　日

OBD 検査における利用者管理システムグループ管理同意書

独立行政法人自動車技術総合機構

OBD 情報・技術センター長　殿

弊事業場は、自動車技術総合機構の提供する OBD 検査の利用者管理システムにおいて、下記の統括管理責任者に当整備事業場の登録・管理に関する権限を付与することに同意いたします。なお、同意する事業場は別紙のとおりです。

記

管理権限を付与する統括管理責任者の氏名等	
グループの名称	
統括管理責任者氏名	

1

様式２（複数事業場用）　別紙

同意する事業場一覧

	指定（認証）番号	整備事業場名	管理責任者氏名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

2

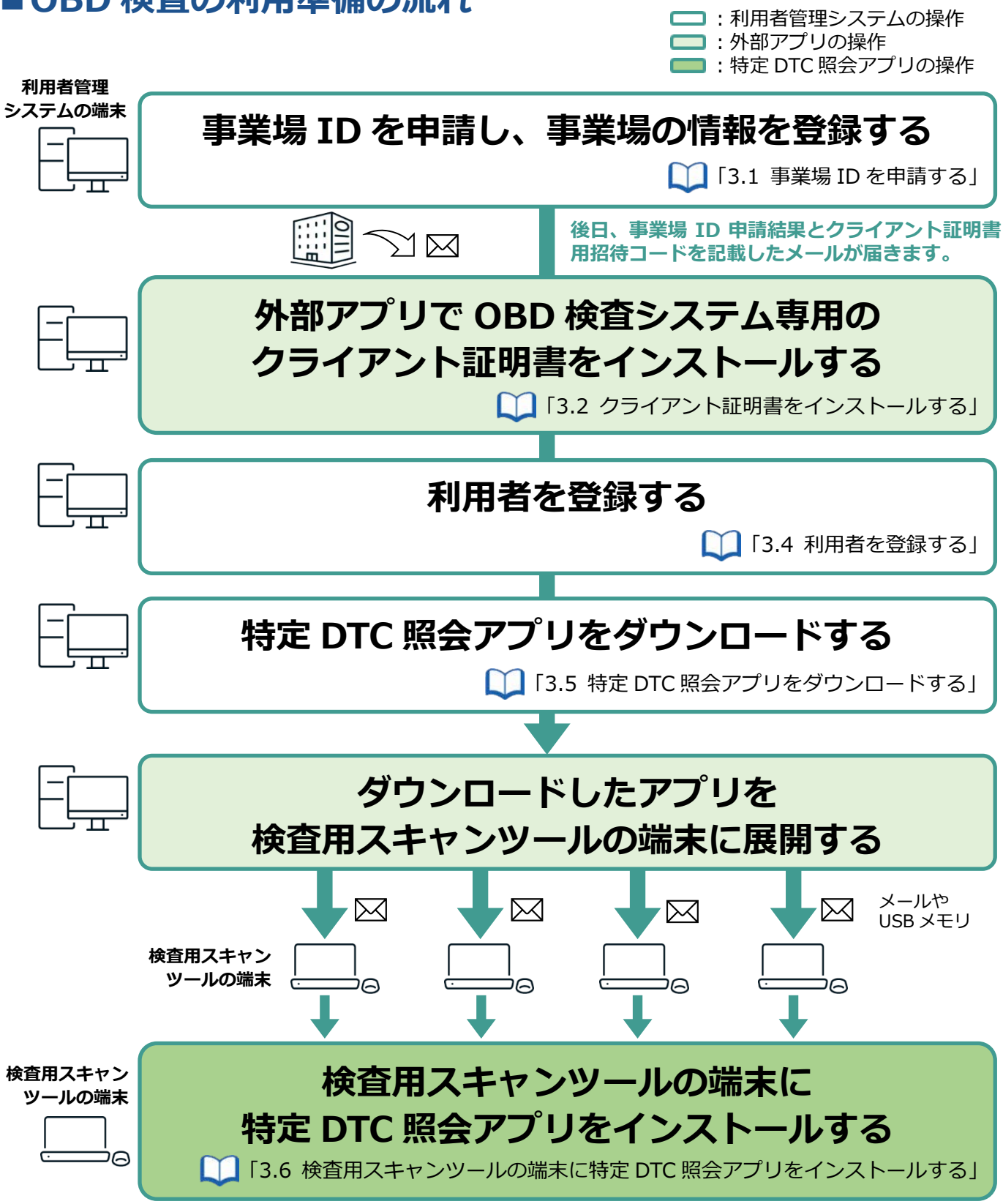
ご注意

紛失等により指定書または認証書がない場合は、管轄の運輸支局等にて指定工場、認証工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は、管轄の運輸支局等に確認してください。

メモ

- 同意書とは、グループに所属する事業場が統括管理責任者に OBD 検査に関する管理権限が委任されていることを証明するための書類です。
  書面の様式は、OBD 検査ポータルに掲載されています。OBD 検査ポータルの詳細については 「8.2 OBD 検査ポータル」を参照してください。
- 指定書または認証書の写しは、申請された事業場が指定工場または認証工場であるかを確認する目的で使用します。

■OBD 検査の利用準備の流れ



ご注意

本システムを使用する端末には、システム利用申請の完了後に OBD 検査システム専用のクライアント証明書がインストールされている必要があります。なお、同一拠点で複数の端末を使用する場合については、システム利用申請の完了後にクライアント証明書の追加発行の申請を行ってください。詳細については、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

3.1　事業場 ID を申請する

事業場 ID を申請します。事業場 ID は、1 つの事業場につき 1 つ付与されます。

OBD 検査の利用申請には、個別申請とグループ申請があります。

- **個別申請**

管理責任者が、事業場ごとに個別に申請する方法です。

- **グループ申請**

統括管理責任者が、複数の事業場をグループとしてまとめて申請する方法です。

グループ申請には、グループを統括管理する拠点（本社）の形態によって、以下の 2 つの方法があります。

- グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場である場合

以下の申請をまとめて行います。

- グループ（枠組み）の利用申請
- グループを統括管理する拠点（本社）の利用申請
- グループに所属する事業場の利用申請

- グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場でない場合

以下の申請をまとめて行います。

- グループ（枠組み）の利用申請
- グループに所属する事業場の利用申請

メモ

- 個別申請によりすでにシステムの利用申請を行った事業場（事業場 ID が付与された事業場）を含めてグループ申請をすることもできます。詳細については、「5.2 グループに事業場を追加する」を参照してください。
- 事業場 ID 申請では、届け出ている現在の事業場情報を入力して申請してください。なお、指定書または認証書の内容が現在の事業場情報と異なっても差し支えありません。

■個別申請の場合

1 つの事業場のみでシステムの利用申請を行う場合の手順を説明します。

1. 以下の URL を入力してシステムにアクセスする

ブラウザのアドレスバーに URL を入力し、「Enter」キーを押します。

本システムの URL は、**https://www.epti-mng.naltec.go.jp** です。

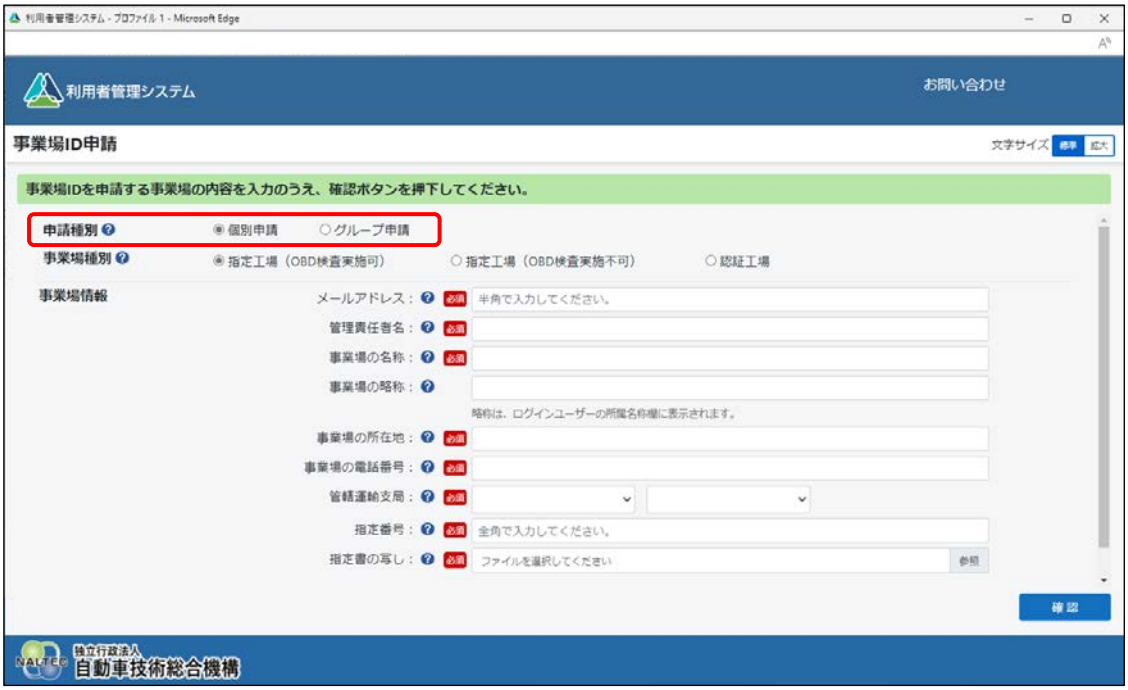
メモ

OBD 検査ポータルからもシステムにアクセスできます。OBD 検査ポータルの詳細については 「8.2 OBD 検査ポータル」を参照してください。

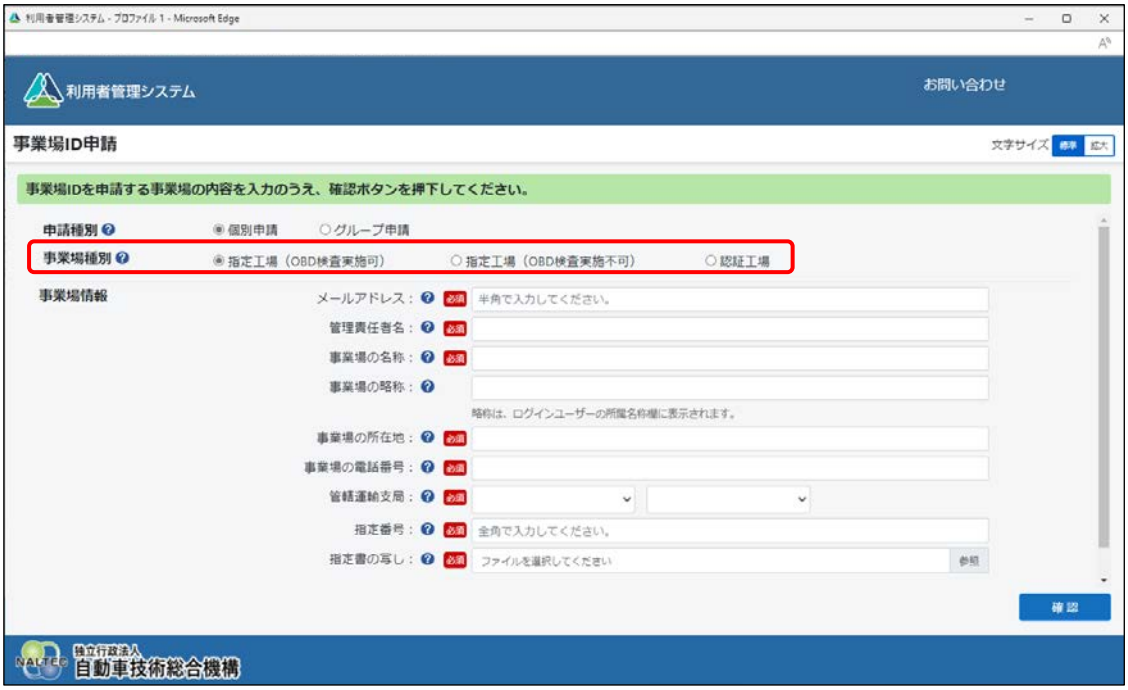
2. 「事業場 ID 申請」を押す

《事業場 ID 申請》画面が表示されます。

3. 「申請種別」で「個別申請」を選択する



4. 「事業場種別」で登録する事業場の種別を選択する



事業場種別の内容は以下のとおりです。

項目	内容
指定工場（OBD 検査実施可）	OBD 検査を実施する指定工場です。
指定工場（OBD 検査実施不可）	OBD 検査対象車について、完成検査を実施せず、自動車技術総合機構または軽自動車検査協会に持ち込む指定工場です。
認証工場	指定を受けていない認証工場です。

5. 「事業場情報」を入力する

必須 と表示されている項目は、必ず入力または選択してください。

項目	内容
メールアドレス	管理責任者または事業場内の各種申請状況の通知等が受け取れるメールアドレスを入力します。 メモ システム障害等が発生した場合など重要な情報について、OBD 検査システムより通知のメールが発信される場合があります。
管理責任者名	事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者の氏名を入力します。必ずしも法令上の管理者（事業場管理責任者や整備主任者等）である必要はありません。
事業場の名称	所属する事業場の名称を入力します。
事業場の略称	事業場の略称を任意に設定できます。入力した場合は略称の表示がされますが、不要な場合は入力しないでください。 設定した略称は、以下で使用されます。 ・各システムログイン後のメニューのユーザー表示 ・特定 DTC 照会アプリログイン後のメニューのユーザー表示 ・実績集計や検査結果参照時の検索欄
事業場の所在地	運輸支局等に届け出ている事業場の所在地を入力します。
事業場の電話番号	複数ある場合は代表番号（管理責任者に繋がるまたは取り次ぐことが可能な番号）を 1 つ入力してください。
管轄運輸局	管轄運輸局・支局を選択します。

項目	内容
指定番号または 認証番号	継続検査用 OCR シートに記載する整備工場コードの一連番号と同じものを入力してください。（基本的にはハイフン以降の数字（アルファベットを除く）） 例） 実際の指定番号：関運指第 1-XXXXX 号 入力する内容：XXXXX 例） 実際の認証番号：近運整認大第 XXXXA 号 入力する内容：XXXX メモ 北陸信越運輸局管内、中国運輸局管内は変換が必要となる場合があります。詳細は、「6.13 指定番号または認証番号の入力ルールを確認したいとき」を参照ください。
指定書または 認証書の写し	**「指定工場（OBD 検査実施可）」／「指定工場（OBD 検査実施不可）」を選択した場合：** 指定書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。指定書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。 * 紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等にて指定工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。 **「認証工場」を選択した場合：** 認証書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。認証書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。 * 紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等にて認証工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。

6. 入力した内容を確認し、「確認」を押す

確認ボタンを押すと入力したメールアドレス宛てに、確認コードが記載されたメールが送信されます。

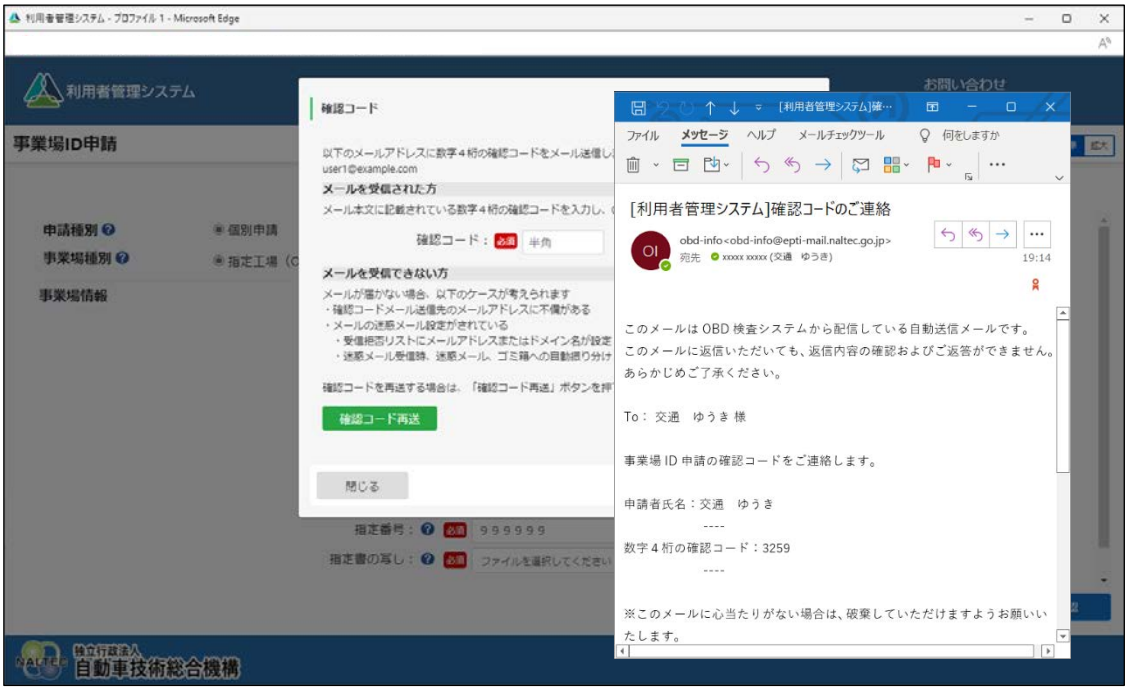
ご注意

- この時点ではまだ申請は完了していません。**画面を閉じずに**次ページ以降の手順に従って、申請を完了してください。
- 環境によってメールが届くまで数分かかることがあります。
- 確認コードの有効期限は、確認ボタンを押下してから 20 分です。メールが届かない場合や有効期限切れの場合は、「確認コード再送」を押してください。
- メールが届かない場合は、利用している端末（PC など）の受信設定により、受信拒否および迷惑メールフォルダーやごみ箱フォルダーへの自動移動が考えられます。詳細については、「6.9 各種申請の受付メールが受信できないとき」を確認してください。

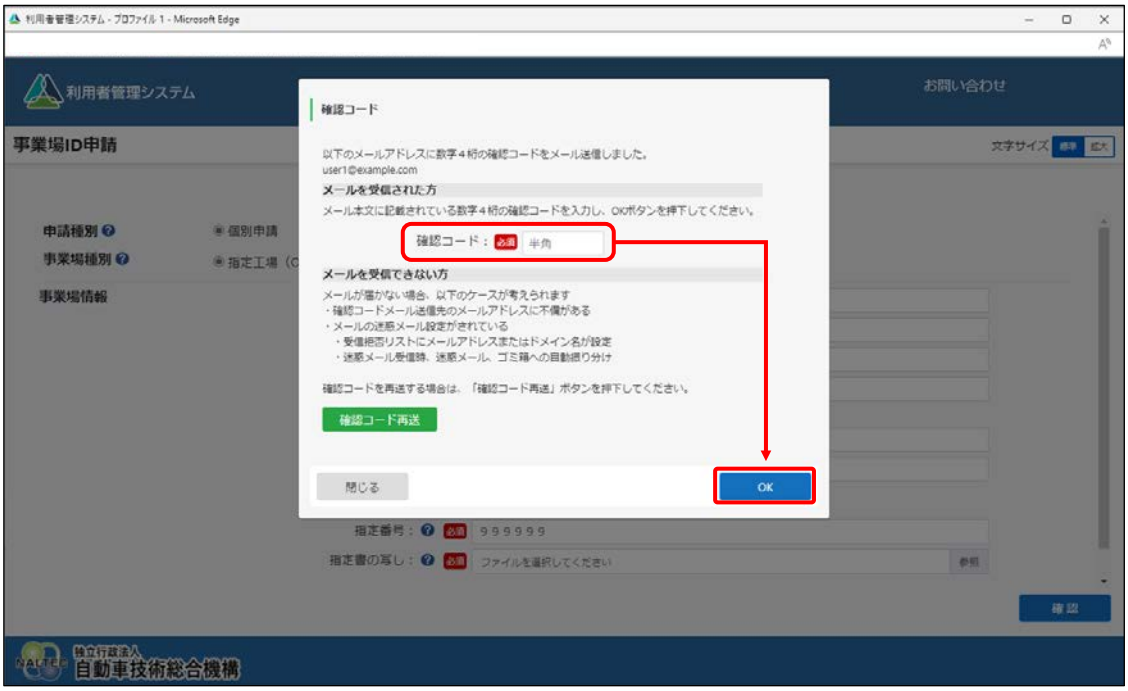
メモ

確認コードが記載されたメールが届かない場合は、「6.9 各種申請の受付メールが受信できないとき」をご確認のうえ、必要な対処を行ってください。その後、確認コードを再送する操作を行ってください。操作方法については、「6.10 確認コードが記載されたメールが届かないとき」を参照してください。

7.　《確認コード》画面を開いたまま、受信したメールを確認する



8.　「確認コード」に、メールに記載されている「数字 4 桁の確認コード」を入力し、「OK」を押す



《事業場 ID 申請確認》画面が表示されます。

ご注意

「閉じる」を押したあと再度「確認」を押した場合、または「確認コード再送」を押した場合は、確認コードが都度送信されますが、最新の確認コード以外使用できません。

9. 申請内容を確認し、「申請」を押す

誤っている場合は、左下の「戻る」を押し、手順 **5.**に戻って申請内容を修正してください。

《事業場 ID 申請受付完了》画面が表示されます。

申請受付メールが申請者に送信されます。後日、事業場 ID 申請結果とクライアント証明書用招待コードが申請者にメールで届きます。

事業場 ID の登録完了した旨のメールとクライアント証明書用招待コードのメールが届いたのち、本システムやアプリを利用する Windows アカウントごとに、OBD 検査システム専用のクライアント証明書をインストールします。詳細については、「3.2 クライアント証明書をインストールする」を参照してください。

■グループ申請の場合

複数の事業場をグループとしてまとめて申請を行う場合の手順を説明します。

ご注意

申請内容に応じて必要となる書類が異なります。詳細については、「■事前に準備する必要があるもの」（P. 34）を確認してください。

1. 以下の URL を入力してシステムにアクセスする

ブラウザのアドレスバーに URL を入力し、「Enter」キーを押します。

本システムの URL は、**https://www.epti-mng.naltec.go.jp** です。

メモ

OBD 検査ポータルからもシステムにアクセスできます。OBD 検査ポータルの詳細については「8.2 OBD 検査ポータル」を参照してください。

2.　「事業場 ID 申請」を押す

《事業場 ID 申請》画面が表示されます。

統括管理する拠点が整備事業場である場合

グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場である場合は、手順 **3-1.**に進みます。

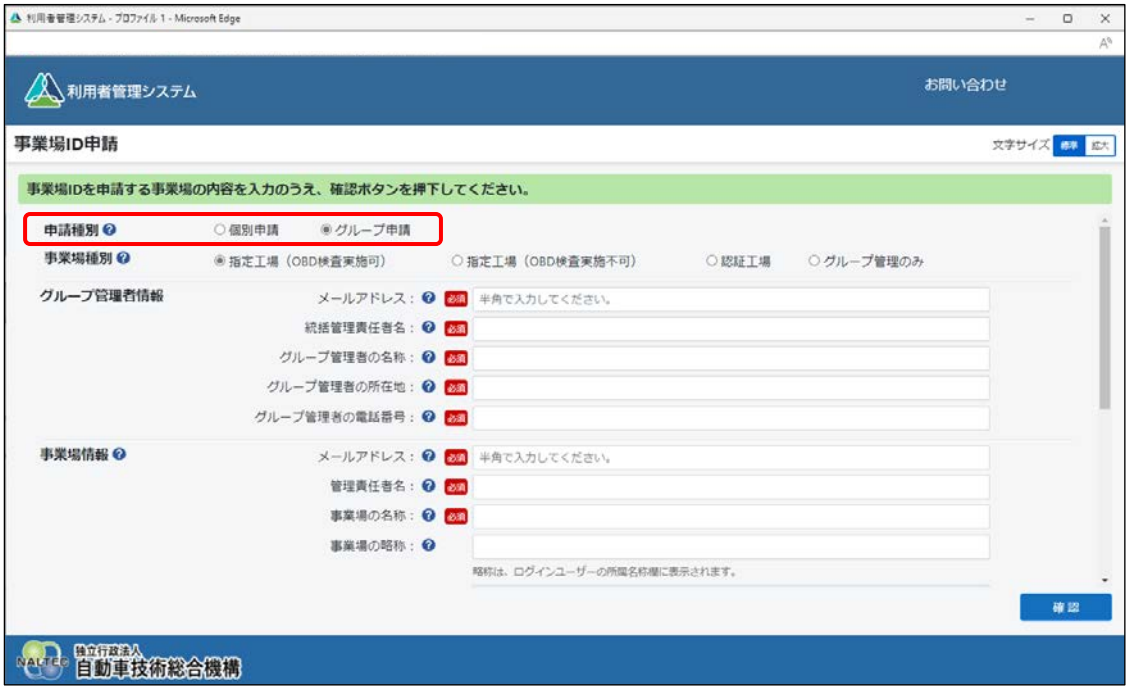
統括管理する拠点が整備事業場でない場合

グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場でない場合は、手順 **3-2.**に進みます。

3-1. 統括管理する拠点が整備事業場である場合

グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場である場合の申請方法です。

① 「申請種別」で「グループ申請」を選択します。



② 「事業場種別」で登録する事業場の種別を、「指定工場（OBD 検査実施可）」、「指定工場（OBD 検査実施不可）」、「認証工場」から選択します。

事業場種別の内容は以下のとおりです。

項目	内容
指定工場（OBD 検査実施可）	OBD 検査を実施する指定工場です。
指定工場（OBD 検査実施不可）	OBD 検査対象車について、完成検査を実施せず、自動車技術総合機構または軽自動車検査協会に持ち込む指定工場です。
認証工場	指定を受けていない認証工場です。

③ 「グループ管理者情報」を入力します。

入力するグループ管理者情報は以下のとおりです。

項目	内容
メールアドレス	統括管理責任者のメールアドレスを入力します。 **メモ** システム障害等が発生した場合など重要な情報について、OBD 検査システムより通知のメールが発信される場合があります。
統括管理責任者名	統括管理責任者の氏名を入力します。
グループ管理者の名称	統括管理責任者が所属する組織の名称を入力します。
グループ管理者の所在地	統括管理責任者が所属する組織の所在地を入力します。
グループ管理者の電話番号	統括管理責任者が所属する組織の電話番号を入力します。

メモ

統括管理責任者と管理責任者は兼任できます。

④ 「事業場情報」を入力します。

必須 と表示されている項目は、必ず入力または選択してください。

項目	内容
メールアドレス	管理責任者または事業場内の各種申請状況の通知等が受け取れるメールアドレスを入力します。 メモ システム障害等が発生した場合など重要な情報について、OBD 検査システムより通知のメールが発信される場合があります。
管理責任者名	事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者の氏名を入力します。必ずしも法令上の管理者（事業場管理責任者や整備主任者等）である必要はありません。
事業場の名称	所属する事業場の名称を入力します。
事業場の略称	事業場の略称を任意に設定できます。入力した場合は略称の表示がされますが、不要な場合は入力しないでください。 設定した略称は、以下で使用されます。 ・各システムログイン後のメニューのユーザー表示 ・特定 DTC 照会アプリログイン後のメニューのユーザー表示 ・実績集計や検査結果参照時の検索欄
事業場の所在地	運輸支局等に届け出ている事業場の所在地を入力します。
事業場の電話番号	複数ある場合は代表番号（管理責任者に繋がるまたは取り次ぐことが可能な番号）を 1 つ入力してください。
管轄運輸支局	管轄運輸局・支局を選択します。
指定番号または認証番号	継続検査用 OCR シートに記載する整備工場コードの一連番号と同じものを入力してください。（基本的にはハイフン以降の数字（アルファベットを除く）） 例） 実際の指定番号：関運指第 1-XXXXX 号 入力する内容：XXXXX

項目	内容
	例） 実際の認証番号：近運整認大第 XXXXA 号 入力する内容：XXXX メモ 北陸信越運輸局管内、中国運輸局管内は変換が必要となる場合があります。詳細は、「6.13 指定番号または認証番号の入力ルールを確認したいとき」を参照ください。
指定書または認証書の写し	**「指定工場（OBD 検査実施可）」／「指定工場（OBD 検査実施不可）」を選択した場合：** 指定書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。指定書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。 * 紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等にて指定工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。 **「認証工場」を選択した場合：** 認証書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。認証書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。 * 紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等にて認証工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。
同意書の写し	同意書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。書面の様式は、OBD 検査ポータルに掲載されています。 メモ グループに所属している事業場のみ表示されます。

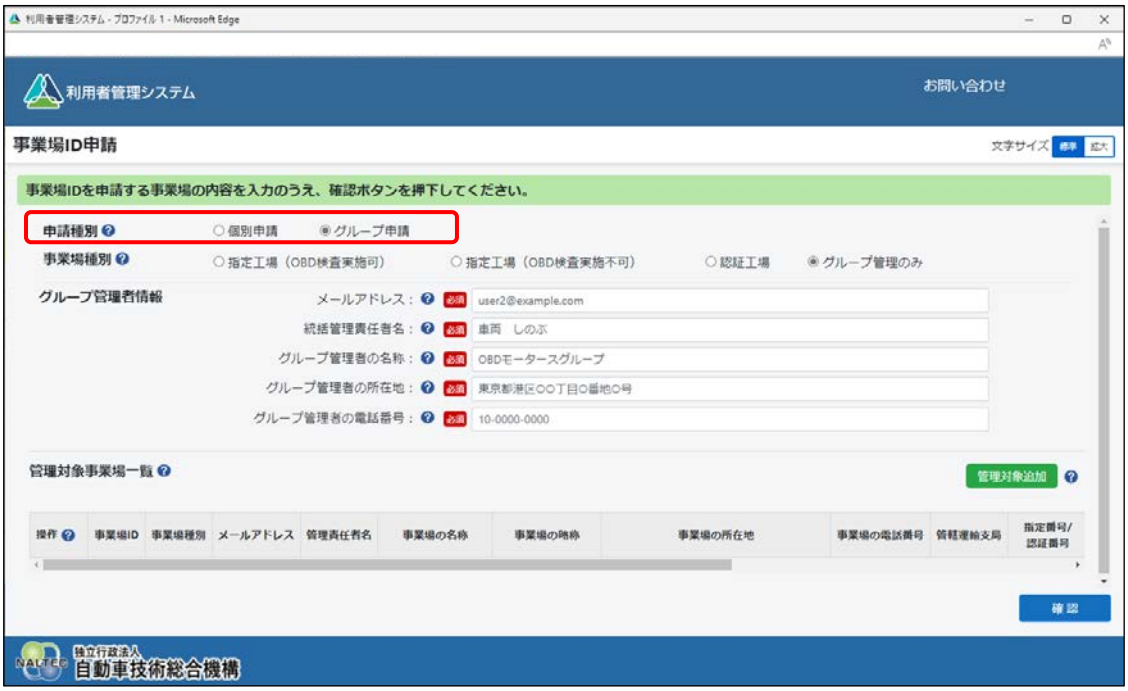
続けて、グループに事業場を追加する場合は、手順 4.へ進みます。

グループに事業場を追加しない場合は、手順 9.へ進みます。

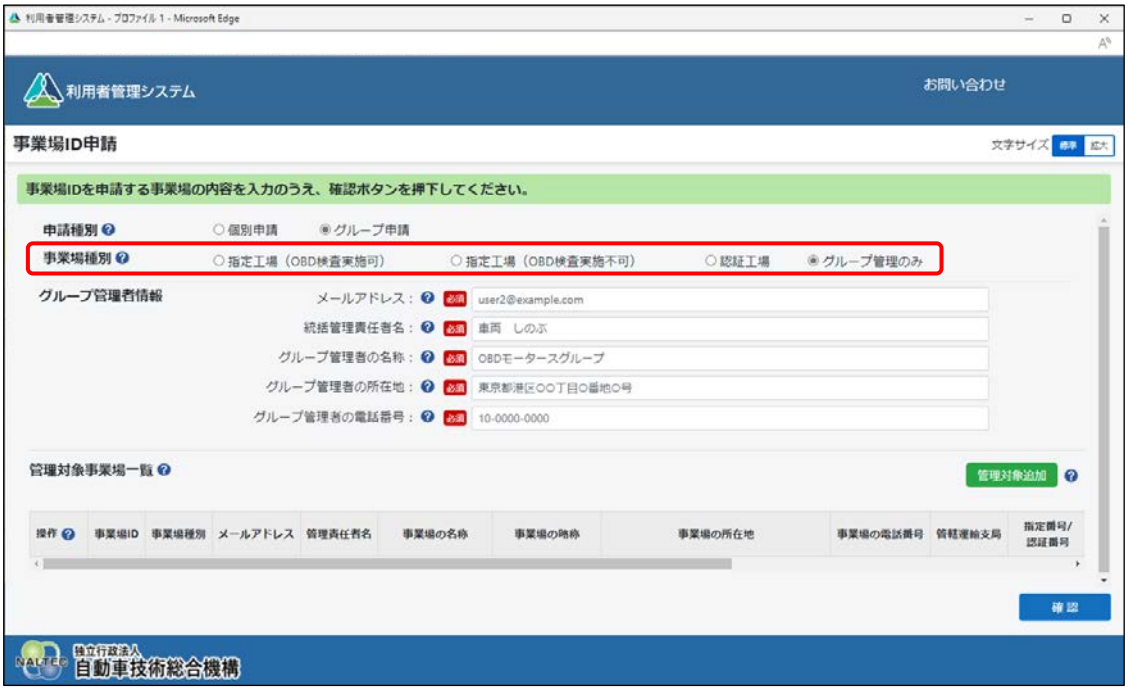
3-2.統括管理する拠点が整備事業場でない場合

グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場でない場合の申請方法です。

① 「申請種別」で「グループ申請」を選択します。



② 「事業場種別」で「グループ管理のみ」を選択します。



③ 「グループ管理者情報」を入力します。

入力するグループ管理者情報は以下のとおりです。

項目	内容
メールアドレス	統括管理責任者のメールアドレスを入力します。 **メモ** システム障害等が発生した場合など重要な情報について、OBD 検査システムより通知のメールが発信される場合があります。
統括管理責任者名	統括管理責任者の氏名を入力します。
グループ管理者の名称	統括管理責任者が所属する組織の名称を入力します。
グループ管理者の所在地	統括管理責任者が所属する組織の所在地を入力します。
グループ管理者の電話番号	統括管理責任者が所属する組織の電話番号を入力します。

メモ

統括管理責任者と管理責任者は兼任できます。

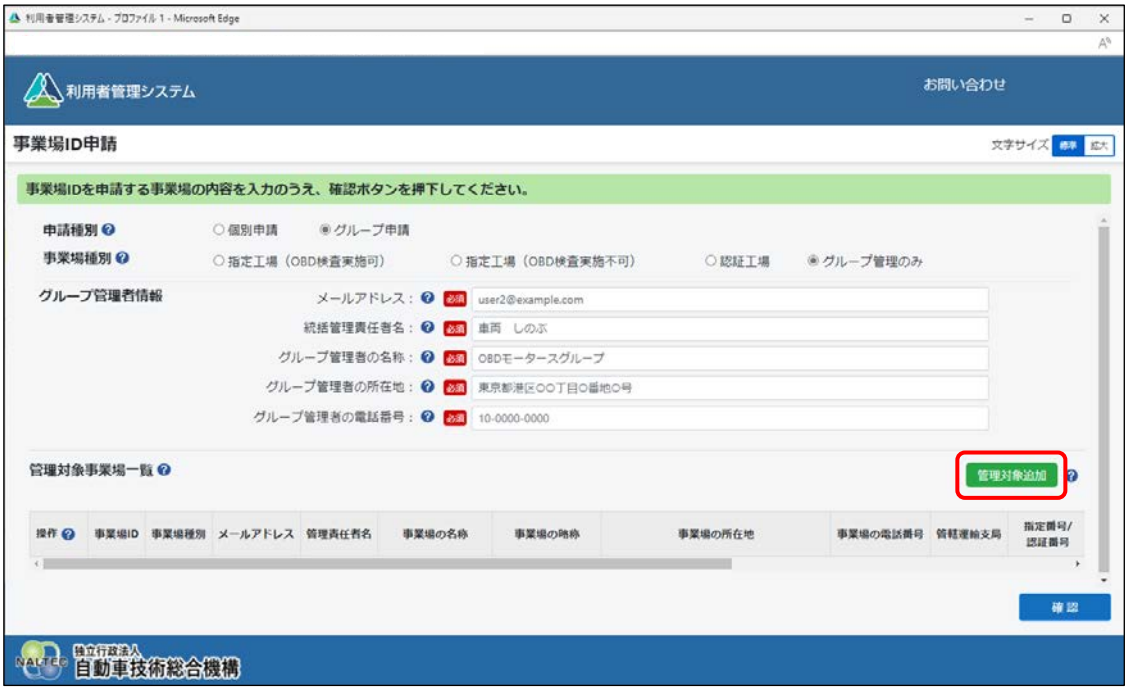
グループに事業場を追加する場合は、手順 4.へ進みます。

グループに事業場を追加しない場合は、手順 9.へ進みます。

メモ

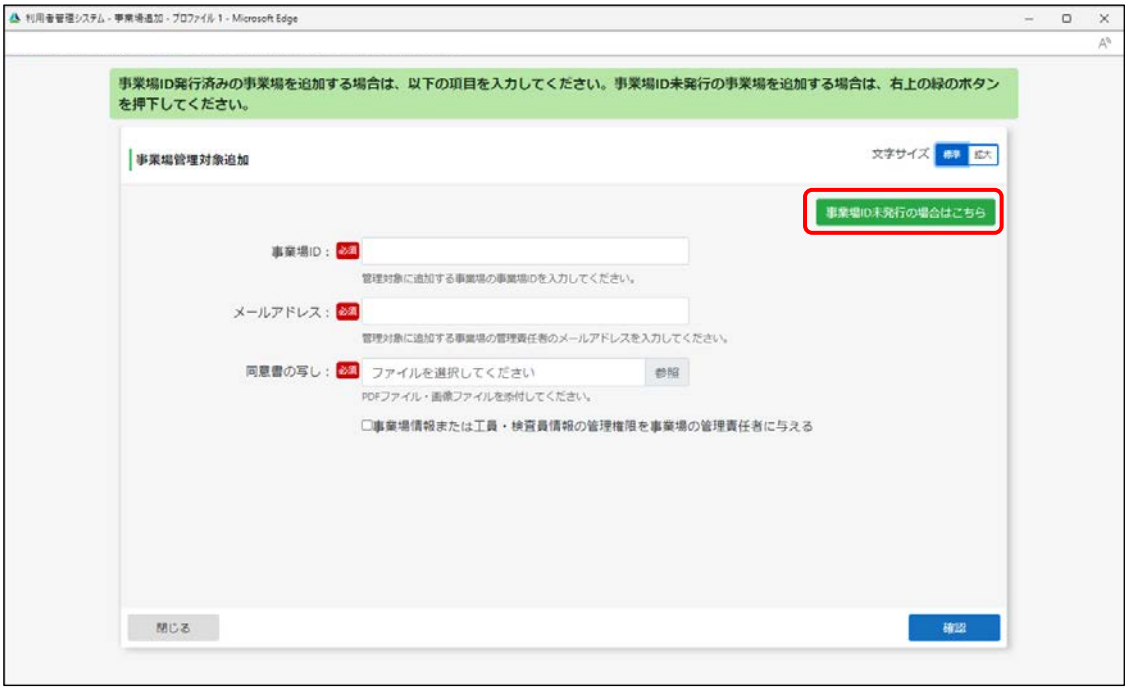
事業場の追加は事業場 ID 申請完了後でも実施できます。詳細については、「5.2 グループに事業場を追加する」を参照してください。

4. グループに事業場を追加する場合は、「管理対象追加」を押す



《事業場管理対象追加》画面が表示されます。

5. 「事業場 ID 未発行の場合はこちら」を押す



《事業場管理対象追加（事業場 ID 申請）》画面が表示されます。

メモ

すでに事業場 ID が発行されている事業場を追加する場合は、《事業場管理対象追加》画面で事業場情報を入力して「確認」を押してください。
詳細については、「5.2 グループに事業場を追加する」を参照してください。

6. 事業場の情報を入力し、「確認」を押す

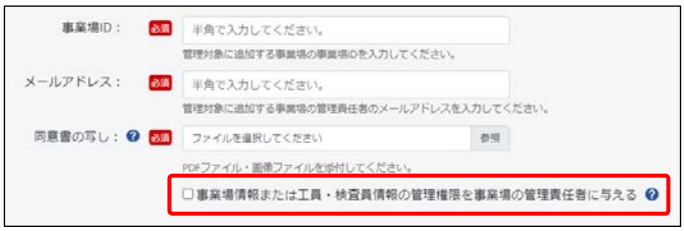
事業場を 1 件ずつ追加します。

必須 と表示されている項目は、必ず入力または選択してください。

入力する事業場情報は以下のとおりです。

項目	内容
メールアドレス	管理責任者または事業場内の各種申請状況の通知等が受け取れるメールアドレスを入力します。 **メモ** システム障害等が発生した場合など重要な情報について、OBD 検査システムより通知のメールが発信される場合があります。
管理責任者名	事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者の氏名を入力します。必ずしも法令上の管理者（事業場管理責任者や整備主任者等）である必要はありません。また、統括管理責任者と兼任できます。
事業場の名称	所属する事業場の名称を入力します。
事業場の略称	事業場の略称を任意に設定できます。入力した場合は略称の表示がされますが、不要な場合は入力しないでください。 設定した略称は、以下で使用されます。 ・各システムログイン後のメニューのユーザー表示 ・特定 DTC 照会アプリログイン後のメニューのユーザー表示 ・実績集計や検査結果参照時の検索欄
事業場の所在地	運輸支局等に届け出ている事業場の所在地を入力します。
事業場の電話番号	複数ある場合は代表番号（管理責任者に繋がるまたは取り次ぐことが可能な番号）を 1 つ入力してください。
管轄運輸支局	管轄運輸局・支局を選択します。 **ご注意** 兵庫県の事業場の方は、［神戸運輸監理部］［兵庫陸運部］を選択してください。

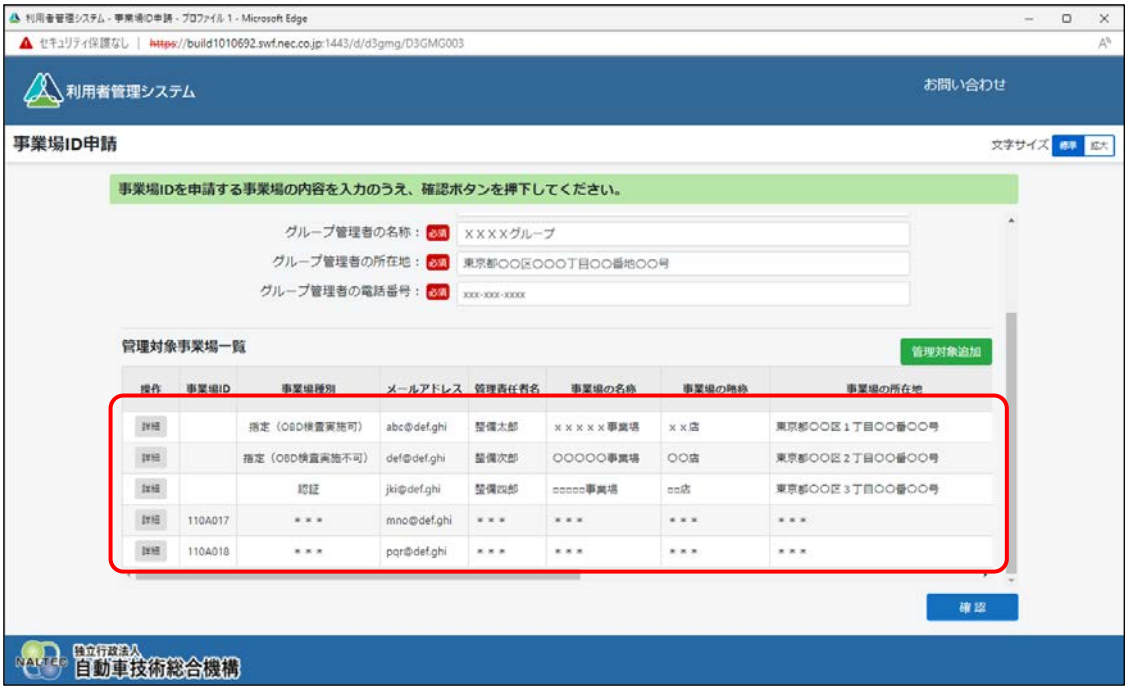
項目	内容
指定番号または 認証番号	継続検査用 OCR シートに記載する整備工場コードの一連番号と同じものを入力してください。（基本的にはハイフン以降の数字（アルファベットを除く）） 例） 実際の指定番号：関運指第 1-XXXXX 号 入力する内容：XXXXX 例） 実際の認証番号：近運整認大第 XXXXA 号 入力する内容：XXXX メモ 北陸信越運輸局管内、中国運輸局管内は変換が必要となる場合があります。詳細は、「6.13 指定番号または認証番号の入力ルールを確認したいとき」を参照ください。
指定書または 認証書の写し	**「指定工場（OBD 検査実施可）」／「指定工場（OBD 検査実施不可）」を選択した場合：** 指定書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。指定書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。 * 紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等にて指定工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。 **「認証工場」を選択した場合：** 認証書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。認証書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。 * 紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等にて認証工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。

項目	内容
同意書の写し	同意書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。 書面の様式は、OBD 検査ポータルに掲載されています。 メモ グループに所属している事業場のみ表示されます。
事業場情報または工員・検査員情報の管理権限を事業場の管理責任者に与える	統括管理責任者の場合に表示されます。 事業場情報または工員・検査員情報の管理権限を管理責任者に付与する場合はチェックを付けます。  権限が付与された管理責任者は、事業場情報と利用者情報の追加・変更・削除ができるようになります。

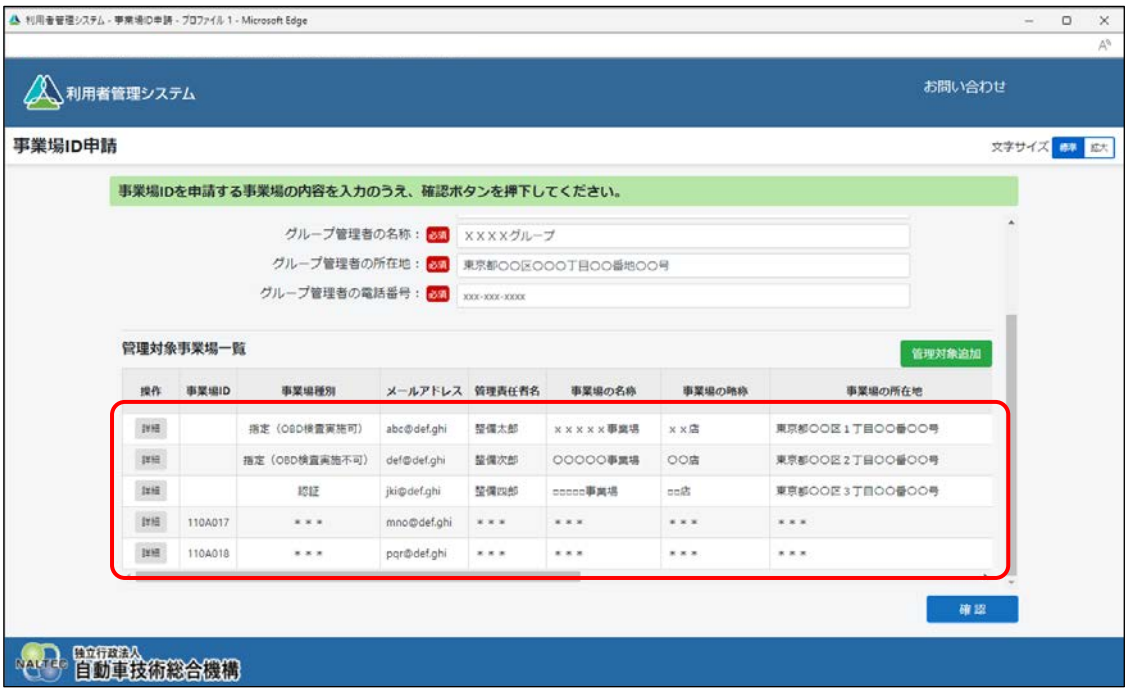
《事業場管理対象追加確認》画面が表示されます。

7. 申請内容を確認し、「追加」を押す

傘下の事業場の管理責任者が初回ログインを実施すると、追加した事業場の情報が「管理対象事業場一覧」に反映されます。



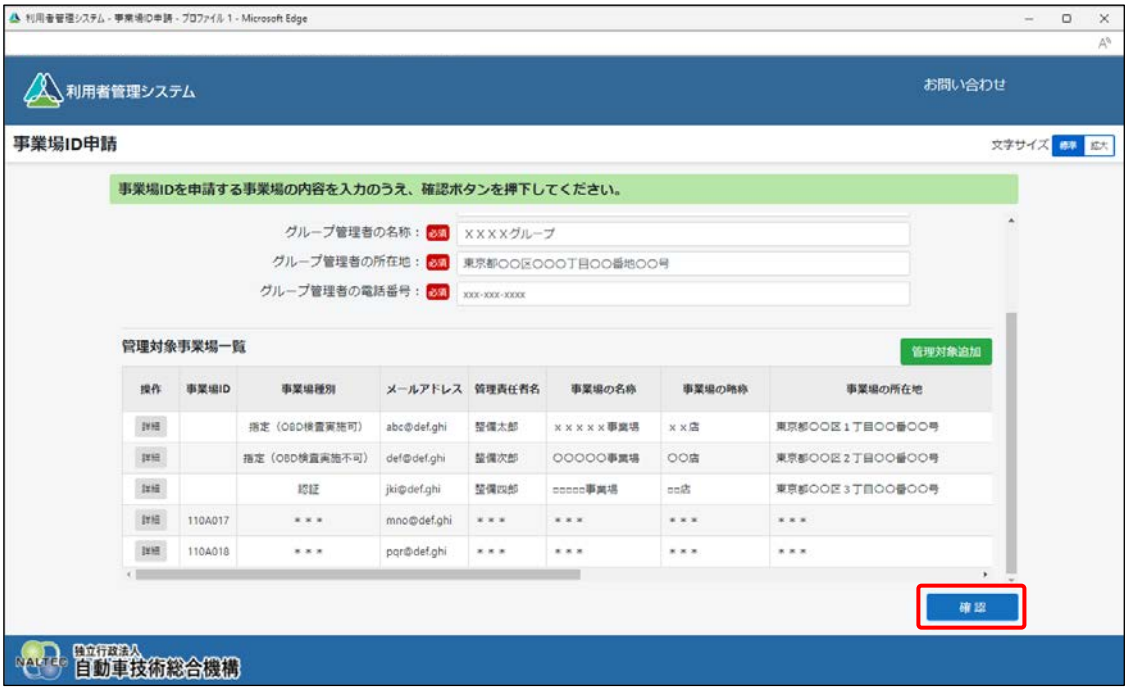
8. 手順 6.～7.を繰り返して、グループに管理対象事業場を追加する



メモ

登録内容を修正・削除する場合は、「詳細」を押して修正・削除します。

9. 入力した内容を確認し、「確認」を押す



事業場情報を入力した場合（統括管理の拠点となる事業場または管理対象となる事業場）

《メールアドレス確認》画面が表示されます。手順 **10.**へ進んでください。

事業場情報を入力しなかった場合（グループ内に事業場がない場合）

《確認コード》画面が表示されます。手順 **11.**へ進んでください。

ご注意

- この時点ではまだ申請は完了していません。**画面を閉じずに**以降の手順に従って、申請を完了してください。
- 環境によってメールが届くまで数分かかることがあります。
- 確認コードの有効期限は 20 分です。メールが届かない場合や有効期限切れの場合は、「確認コード再送」を押してください。

メモ

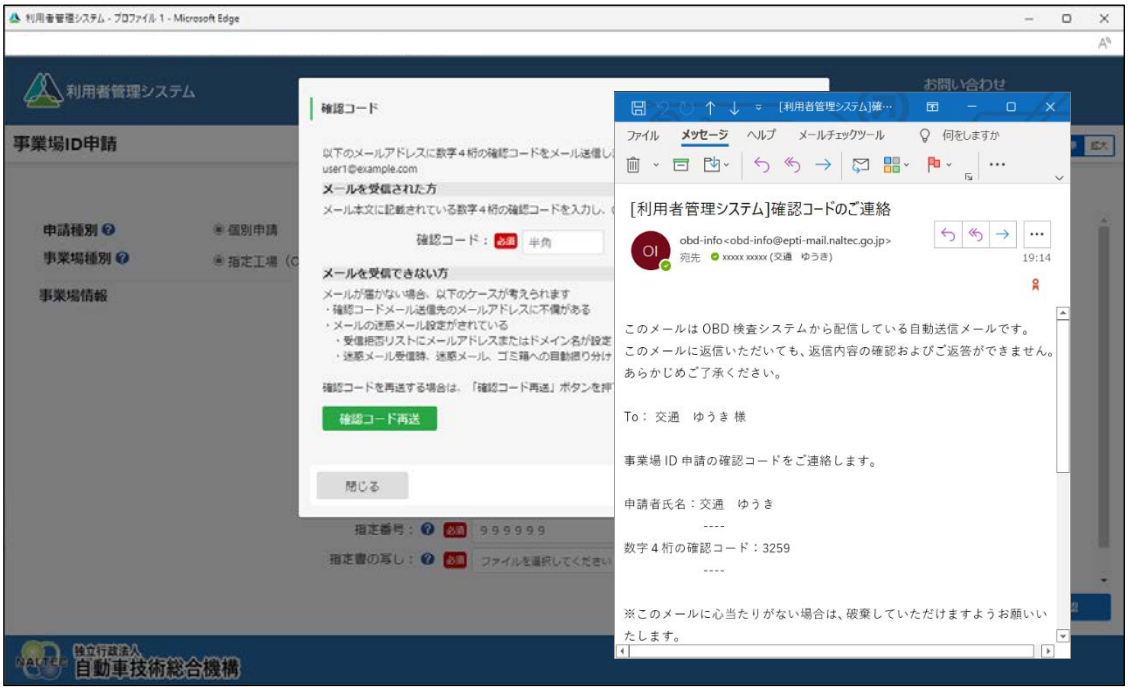
確認コードが記載されたメールが届かない場合は、「6.9 各種申請の受付メールが受信できないとき」をご確認のうえ、必要な対処を行ってください。その後、確認コードを再送する操作を行ってください。操作方法については、「6.10 確認コードが記載されたメールが届かないとき」を参照してください。

10. メールアドレスを確認し、「OK」を押す

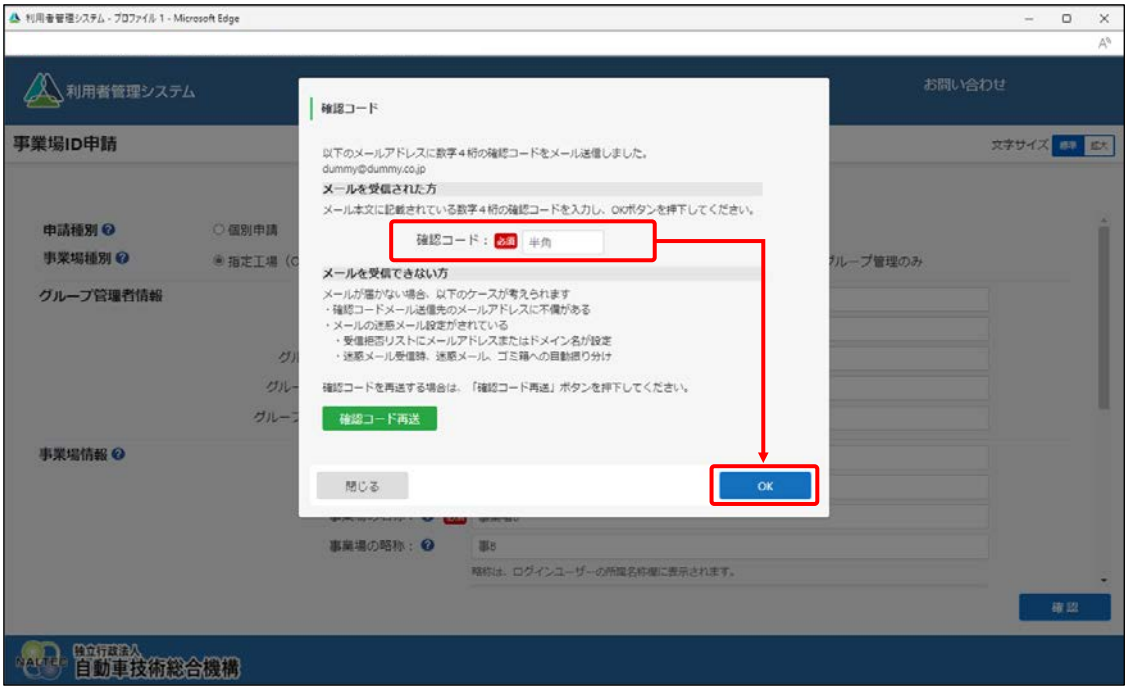
入力した統括管理責任者のメールアドレス宛てに、確認コードが記載されたメールが送信されます。

《確認コード》画面が表示されます。

11. 《確認コード》画面を開いたまま、受信したメールを確認する



12.「確認コード」に、メールに記載されている「数字 4 桁の確認コード」を入力し、「OK」を押す



《事業場 ID 申請確認》画面が表示されます。

ご注意

- メールが届かない場合は、利用している端末（PC など）の受信設定により、受信拒否および迷惑メールフォルダーやごみ箱フォルダーへの自動移動が考えられます。詳細については、「6.9 各種申請の受付メールが受信できないとき」を確認してください。
- 「閉じる」を押したあと再度「確認」を押した場合、または「確認コード再送」を押した場合は、確認コードが都度送信されますが、最新の確認コード以外使用できません。

13. 申請内容を確認し、「申請」を押す

誤っている場合は、左下の「戻る」を押し、手順 **3-1.**または **3-2.**に戻って申請内容を修正してください。

《事業場 ID 申請受付完了》画面が表示されます。

統括管理する拠点が整備事業場である場合

登録した事業場の管理責任者および統括管理責任者のメールアドレス宛てに、申請受付メールが送信されます。また、後日、管理責任者および統括管理責任者に、申請結果とクライアント証明書用招待コードがメールで届きます。

グループ兼事業場の管理責任者については、クライアント証明書の招待コードは統括管理責任者にのみ送付されています。統括管理責任者は初回ログインを行い、招待コードの発行申請を行ってください。

統括管理する拠点が整備事業場でない場合

登録した事業場の統括管理責任者のメールアドレス宛てに、申請受付メールが送信されます。また、後日、統括管理責任者に、申請結果とクライアント証明書用招待コードがメールで届きます。

事業場 ID の登録完了した旨のメールとクライアント証明書用招待コードのメールが届いたのち、本システムやアプリを利用する Windows アカウントごとに、OBD 検査システム専用のクライアント証明書をインストールします。詳細については、 「3.2 クライアント証明書をインストールする」を参照してください。

3.2　クライアント証明書をインストールする

システムやアプリを利用するには、1 つの Windows アカウント（同じアカウントで異なる端末を使用する場合には端末ごと）につき、1 つの OBD 検査システム専用のクライアント証明書をインストールする必要があります。外部アプリ Soliton KeyManager を利用して、システムやアプリを利用する端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）にクライアント証明書をインストールしてください。
クライアント証明書のインストールには、事業場 ID の登録完了時に送信されるクライアント証明書招待コードに関するメールに記載されている情報（ユーザーID や招待コード等） が必要となりますのであらかじめご準備ください。

ご注意

- クライアント証明書用招待コードの有効期限は、送付されてから 30 日間です。有効期限が切れた場合は、以下の方法で対処してください。
  - 利用者管理システムにログインできる管理責任者がいる場合
    利用者管理システムから、クライアント証明書発行依頼を行います。操作方法は、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。
  - 利用者管理システムにログインできる管理責任者がいない場合
    OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。
- 同一拠点で複数の端末を使用する場合は、「3　システムを利用するための準備をする」の作業完了後に、クライアント証明書の追加発行の申請を行ってください。詳細については、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

メモ

Windows アカウントの共有はセキュリティ観点から推奨しておりません。

■インストールの流れ

Soliton KeyManager をインストールする

↓

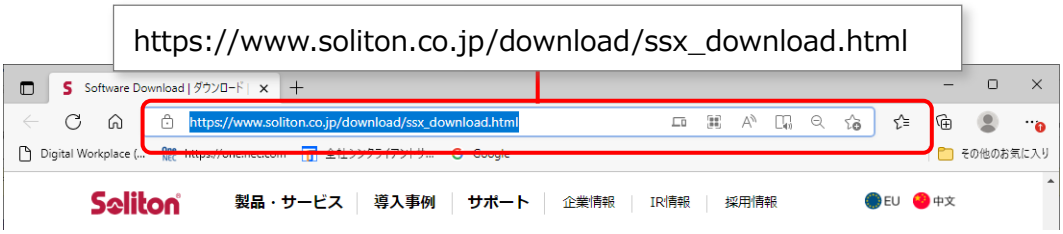
クライアント証明書をインストールする

■Soliton KeyManager をインストールする

Soliton KeyManager は、端末にクライアント証明書をインストールするための外部アプリです。

1. Web ブラウザで URL にアクセスする

ブラウザのアドレスバーに URL を入力し、「Enter」キーを押します。Soliton KeyManager の URL は、OBD 検査ポータルとクライアント証明書用招待コードのメールにも記載されています。

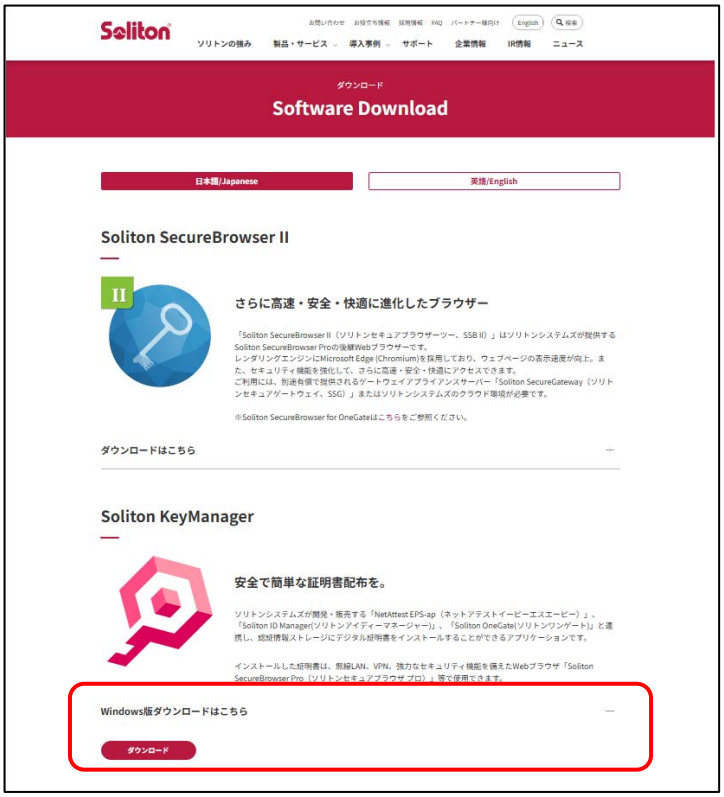


ダウンロード画面が表示されます。

ご注意

Soliton KeyManager は、開いたページを下にスクロールして 2 つ目のアイコンです。Soliton SecureBrowser II ではありませんのでご注意ください。

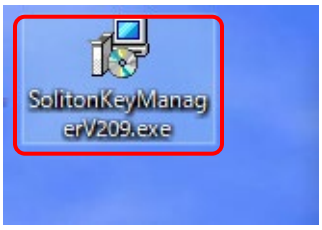
2. Soliton KeyManager の「Windows 版ダウンロードはこちら」の「+」を押して開き、「ダウンロード」を押す



メモ

Soliton KeyManager のインストール方法の詳細については、「6.15 Soliton KeyManager のインストール詳細手順を確認したいとき」を参照してください。

3. ダウンロードした ZIP ファイルを解凍し、「SolitonKeyManagerVxxx.exe」を実行する

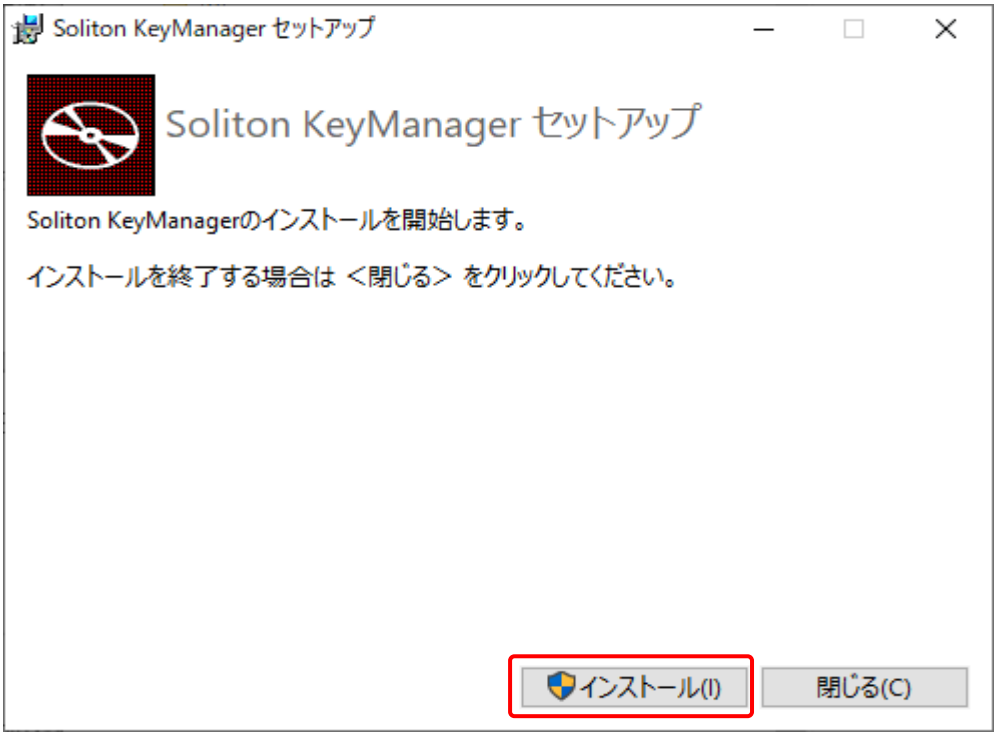


メモ

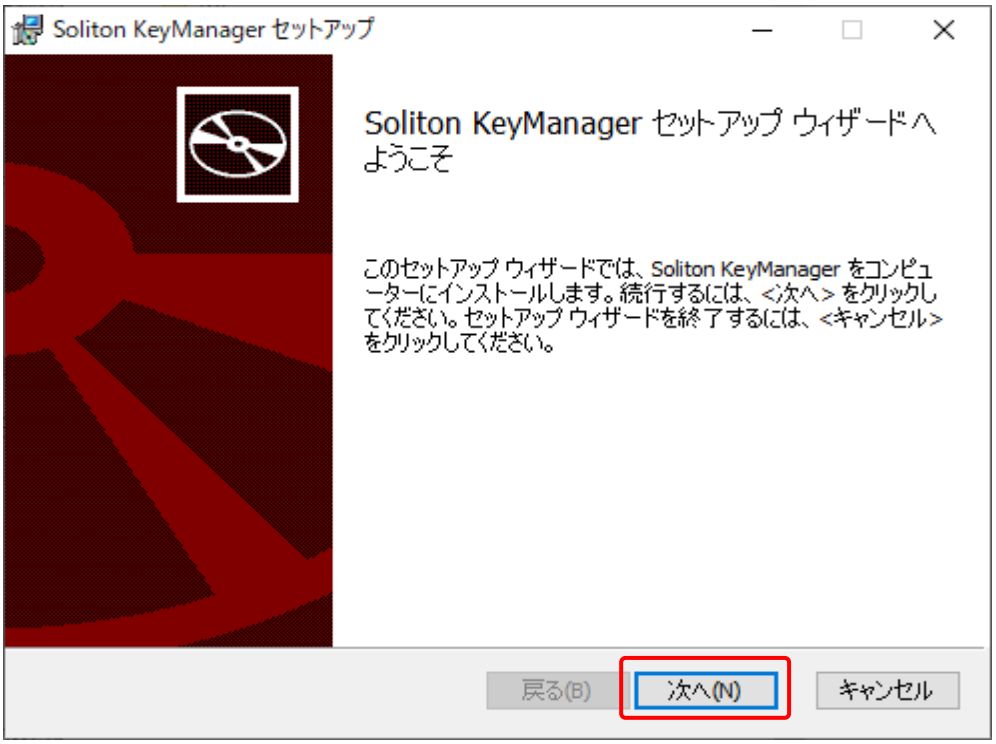
- Vxxx の部分は、バージョンによって変わります。
- ファイルを解凍する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、ファイルを右クリックし、「展開する」を選択します。

「Soliton KeyManager セットアップ」画面が表示されます。

4. 「インストール」を押す

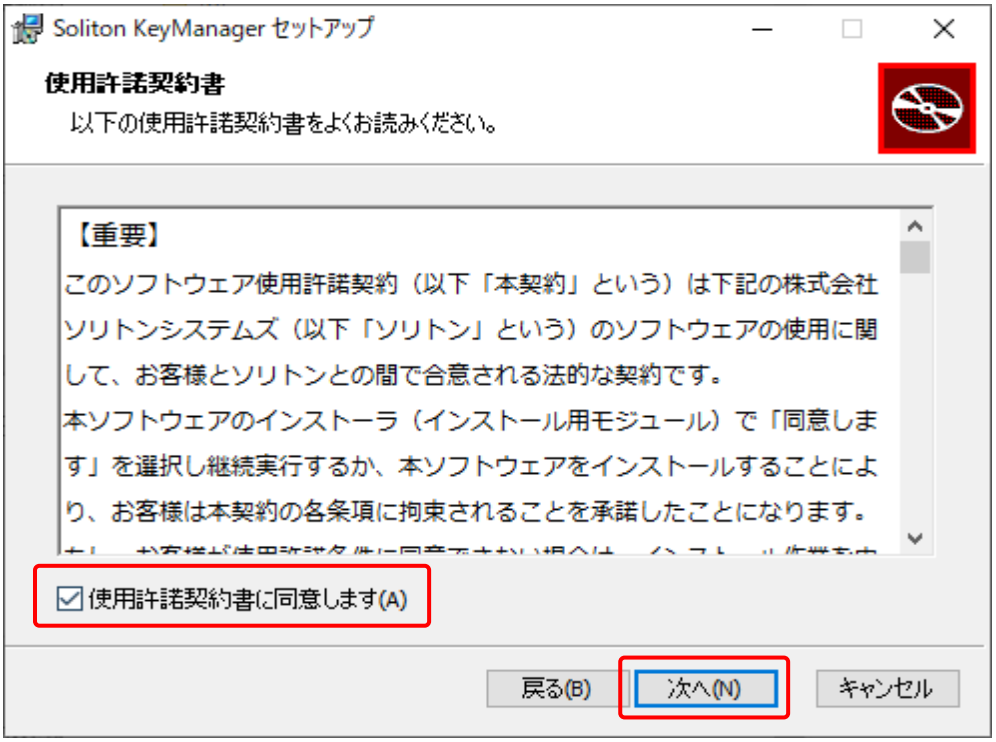


5. 「次へ」を押す



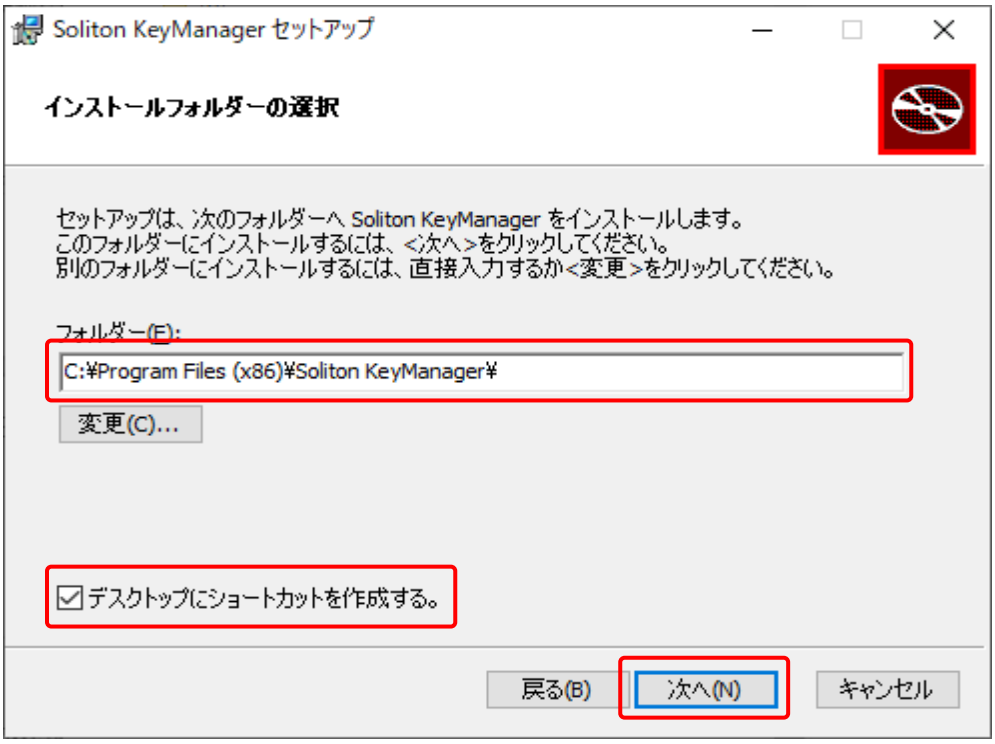
「使用許諾契約書」が表示されます。

6. 使用許諾契約を確認のうえ「使用許諾契約書に同意します」にチェックを付け、「次へ」を押す



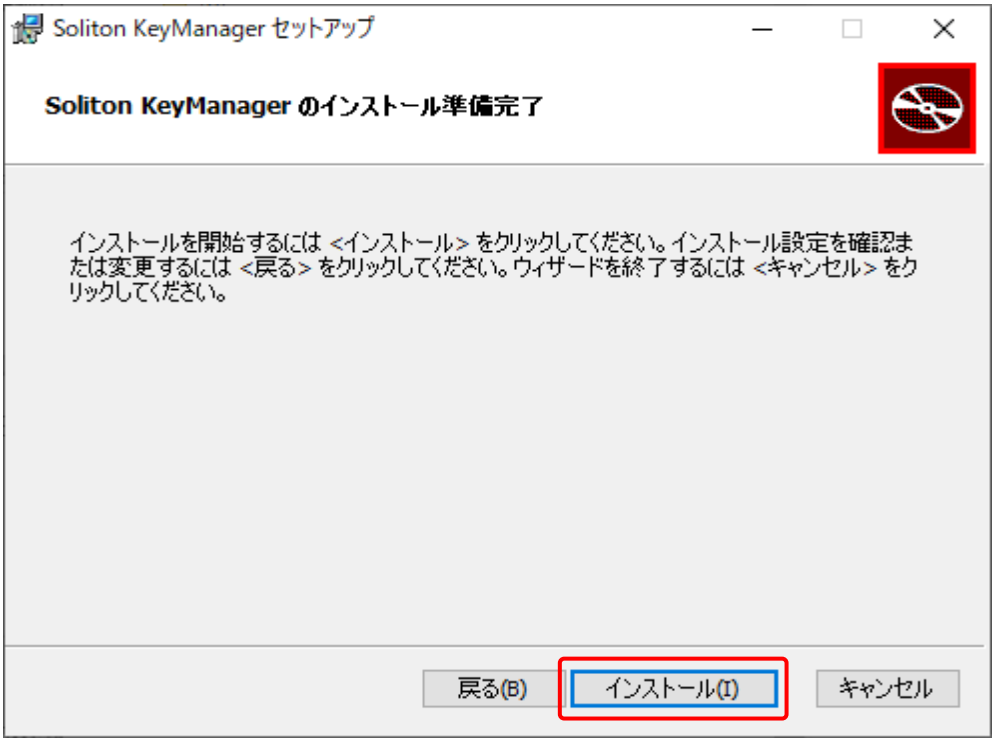
「インストールフォルダーの選択」が表示されます。

7. フォルダーを確認し、「デスクトップにショートカットを作成する。」にチェックが付いていることを確認して、「次へ」を押す



「Soliton KeyManager のインストール準備完了」が表示されます。

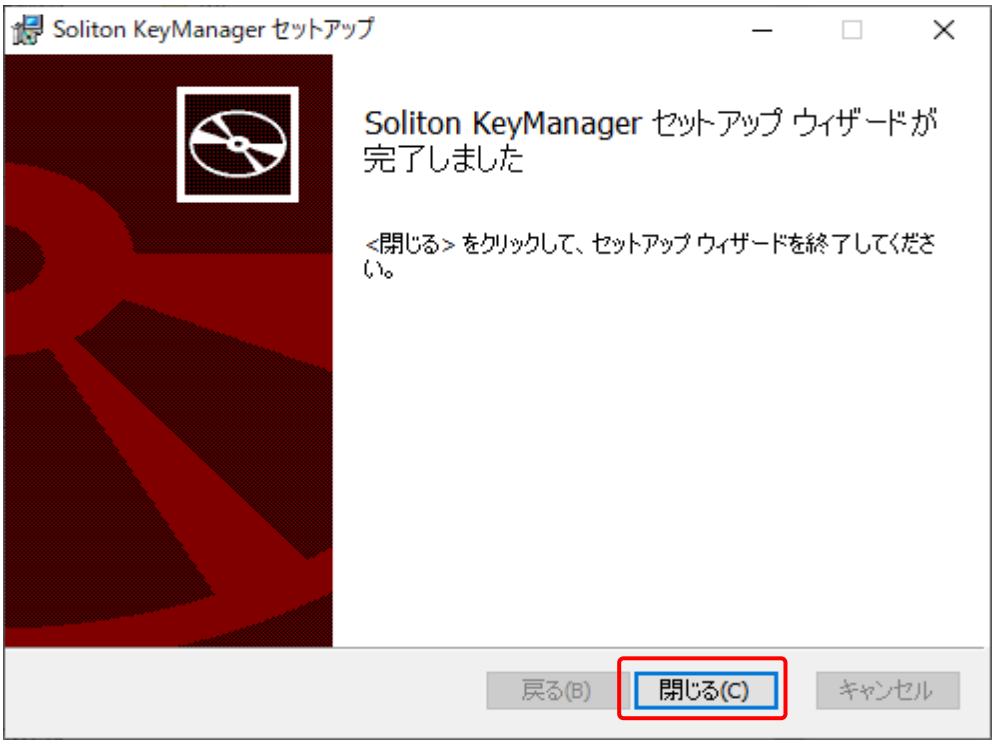
8. 「インストール」を押す



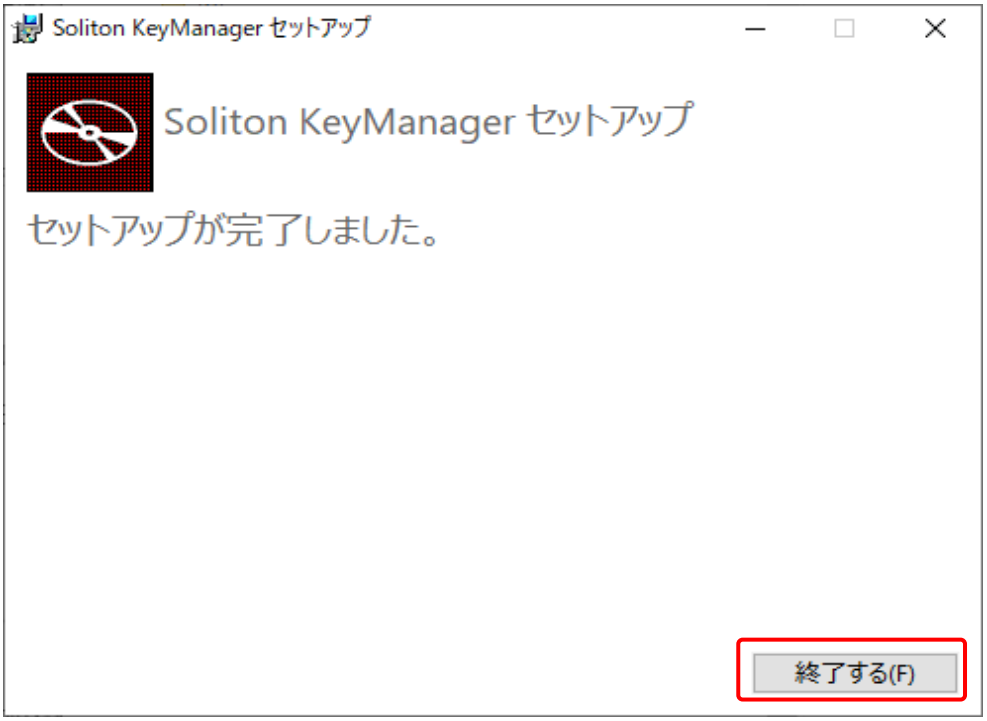
インストールが開始されます。

インストールが完了すると、完了画面が表示されます。

9. 「閉じる」を押す



10. 「終了する」を押す



以上で、Soliton KeyManager のインストールの操作は完了です。

■クライアント証明書をインストールする

操作を始める前に、ユーザー情報の登録依頼をした後に OBD 検査システムから送付されたメールに記載されている招待コードと、ユーザーID を準備してください。

クライアント証明書申請招待メール

OI obd-info <obd-info@epti-mail.naltec.go.jp>
宛先 ○ XXXXX XXXXXXX(交通 ゆうき)

以下のユーザに招待コードを発行しました。
Solition KeyManager にて以下情報を入力し証明書申請を行って下さい。

ユーザ ID：***ser001
招待コード：***KJE
※招待コードの有効期限は「2023-01-08 01:27:10 JST」となります。
ホスト名：www.epti-cert1.naltec.go.jp

※本ページに記載の内容と、実際に OBD 検査システムから送付されるメールの内容とでは、異なる場合があります。

メモ

お使いの端末の設定によって、メール本文が文字化けする可能性がございます。対処方法については 「6.14 受信したメールが文字化けするとき」を参照してください。

ご注意

お使いの Soliton KeyManager のバージョンにより、手順が異なります。
インストールしているバージョンをご確認のうえ、以下の手順を実施してください。

- Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合（p.72）
- Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合（p.77）

Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

11. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

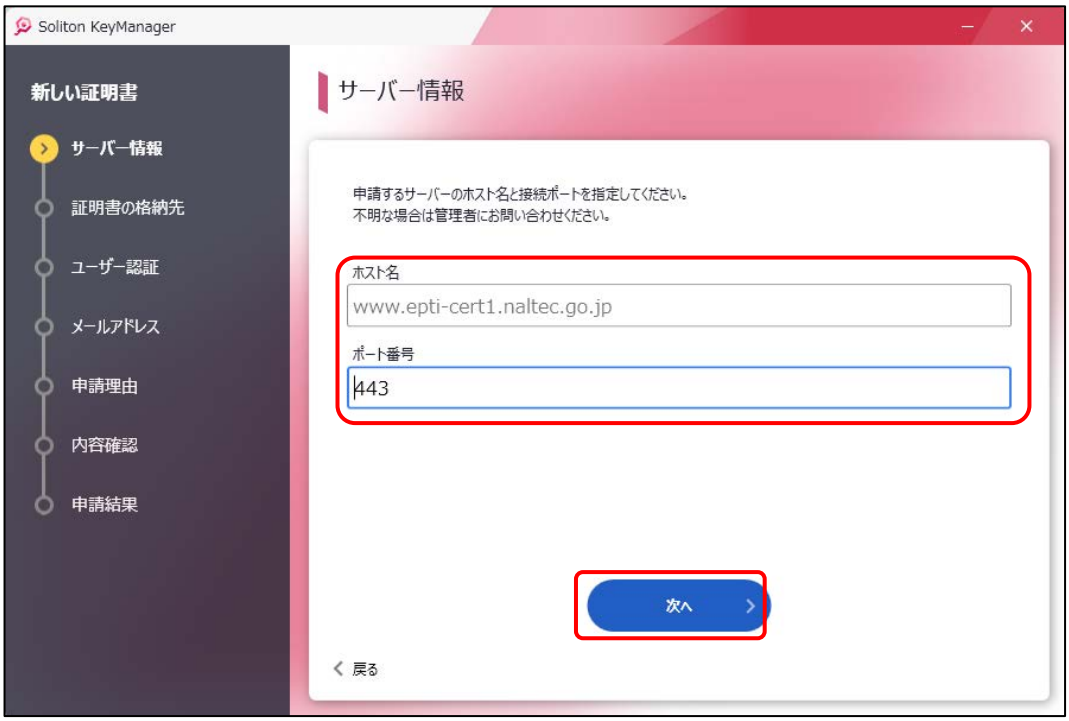
Soliton KeyManager が起動します。

メモ

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

12.「新しい証明書」を押す

13.ホスト名と HTTPS ポート番号を入力し、「次へ」を押す



項目	内容
ホスト名を入力	メールに記載されているホスト名を入力します。
HTTPS ポート番号	443（デフォルトで入力されている場合、入力を変更する必要はありません。）

メモ

使用する端末にプロキシが設定されている場合、プロキシサーバーで「ホスト名を入力」の URL への通信許可を行ってください。不明な場合は、所属している組織のネットワーク管理者や通知を管理している部門にお問い合わせください。

14.「ユーザー」を押す

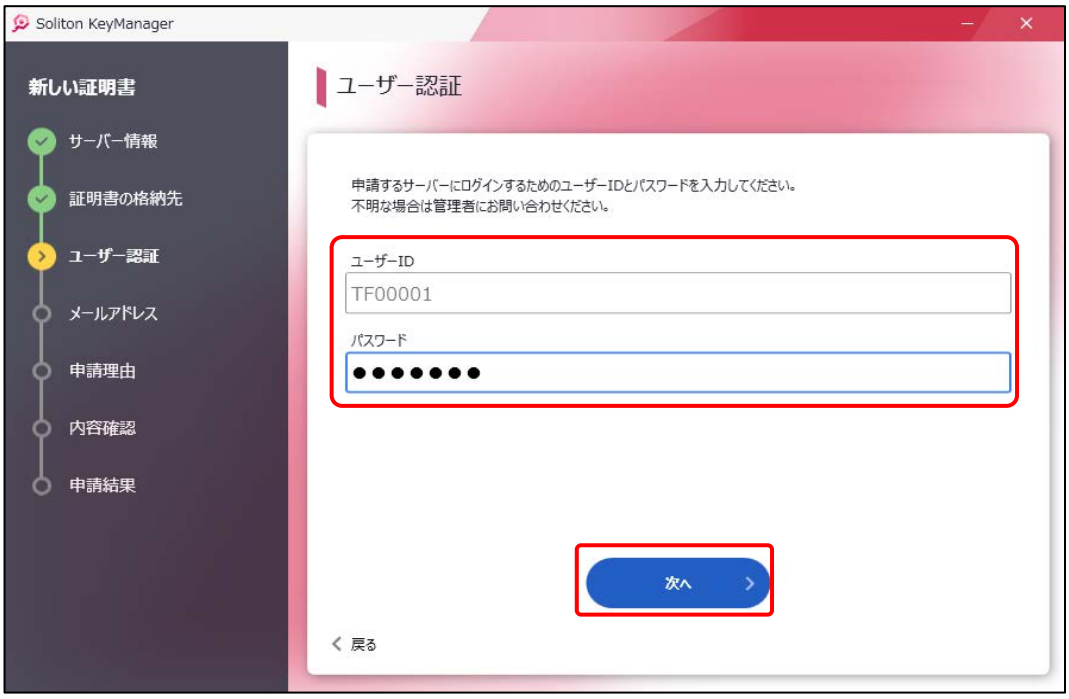
現在ログインしているユーザーの証明書ストアに証明書が格納されます。

ご注意

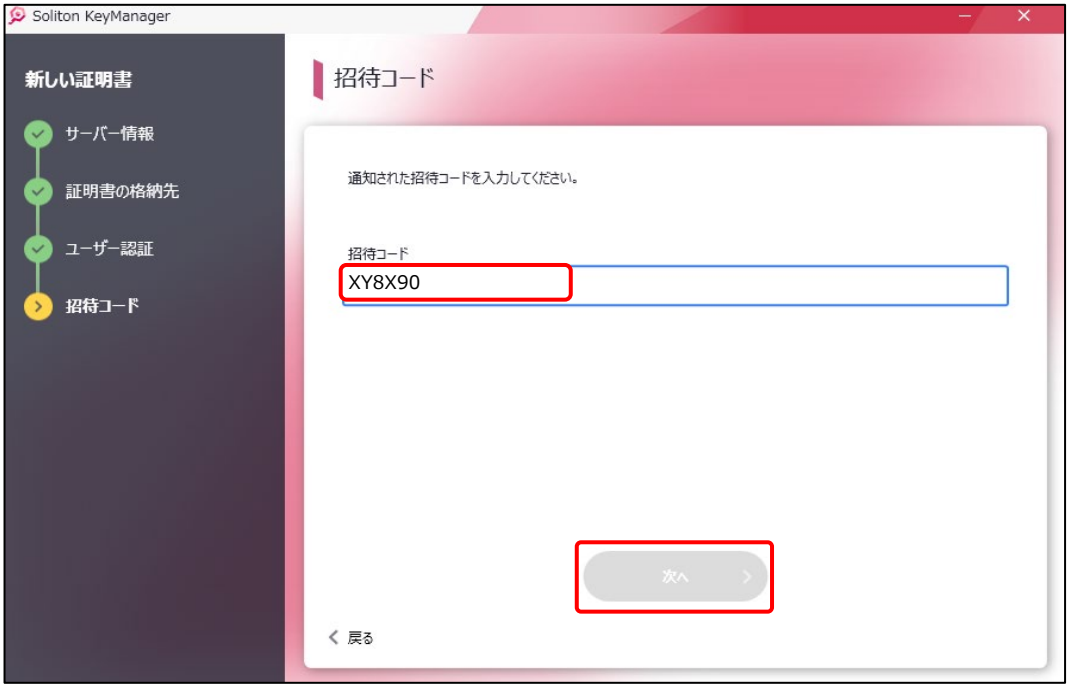
誤って「コンピュータ」を選択した場合は、「戻る」を押して操作をやり直してください。

15.「ユーザーID」、「パスワード」を入力し、「次へ」を押す

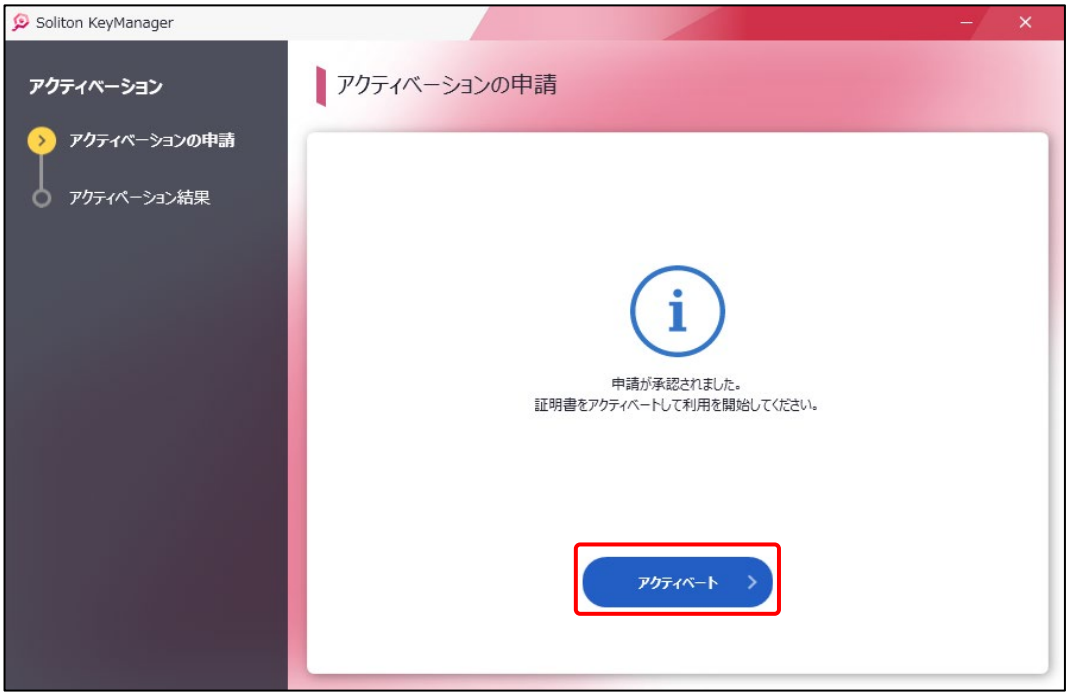
OBD 検査システムから送付されたメールに記載されているユーザーID とパスワード（パスワードはユーザーID と同じ）を入力します。



16. 招待コードを入力し、「次へ」を押す

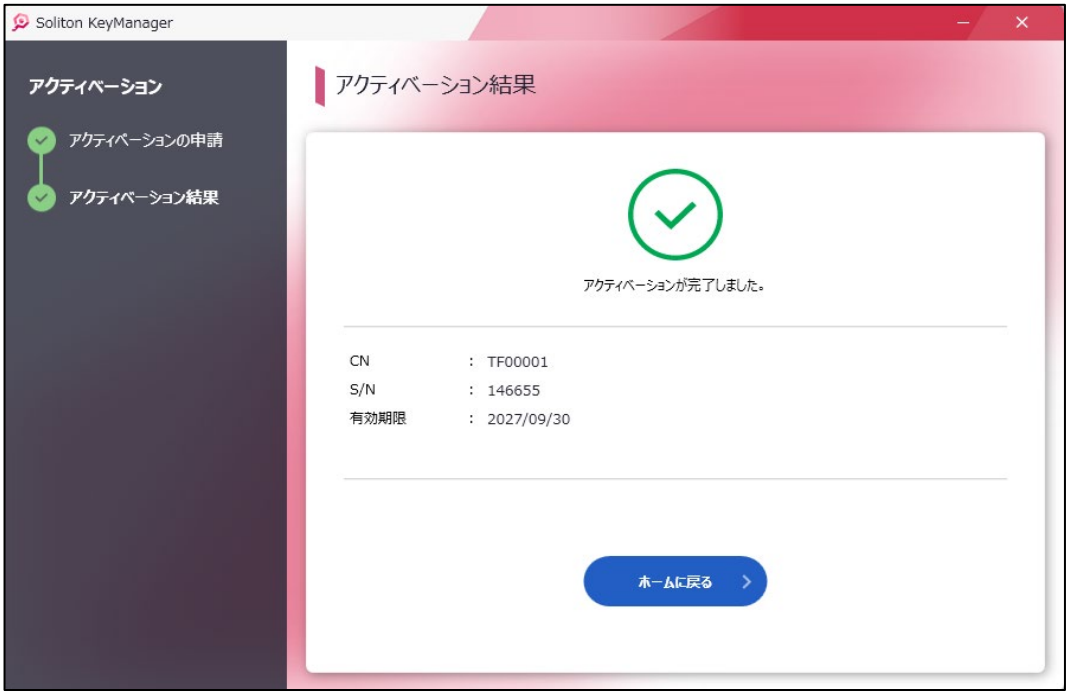


17. 「アクティベート」を押す



処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

18. アクティベーション完了の画面が表示されることを確認する



「ホームに戻る」を押すと、ホーム画面に戻ります。

端末の Windows の証明書ストアの「個人」–「証明書」に、ユーザーID のクライアント証明書がインストールされます。

以上で、クライアント証明書のインストールの操作は完了です。

Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合

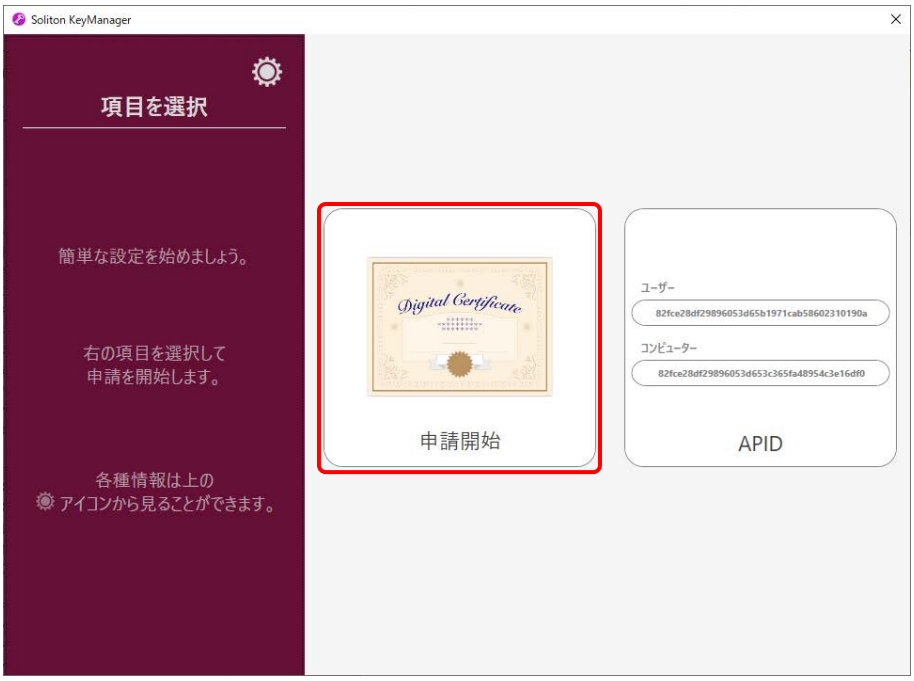
1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

メモ

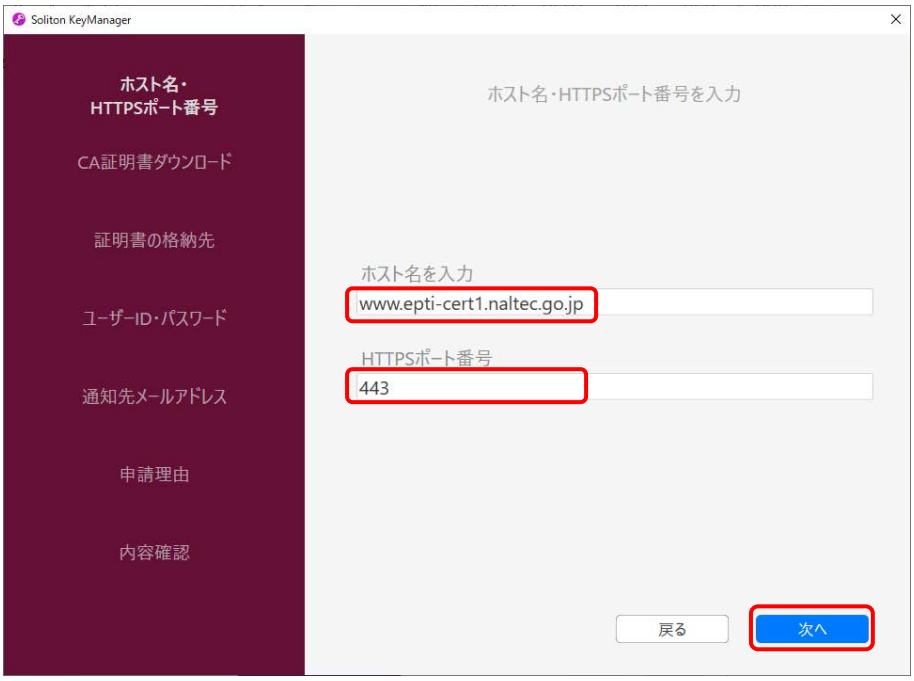
- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

Soliton KeyManager が起動します。

2. 「申請開始」を押す



3. ホスト名と HTTPS ポート番号を入力し、「次へ」を押す



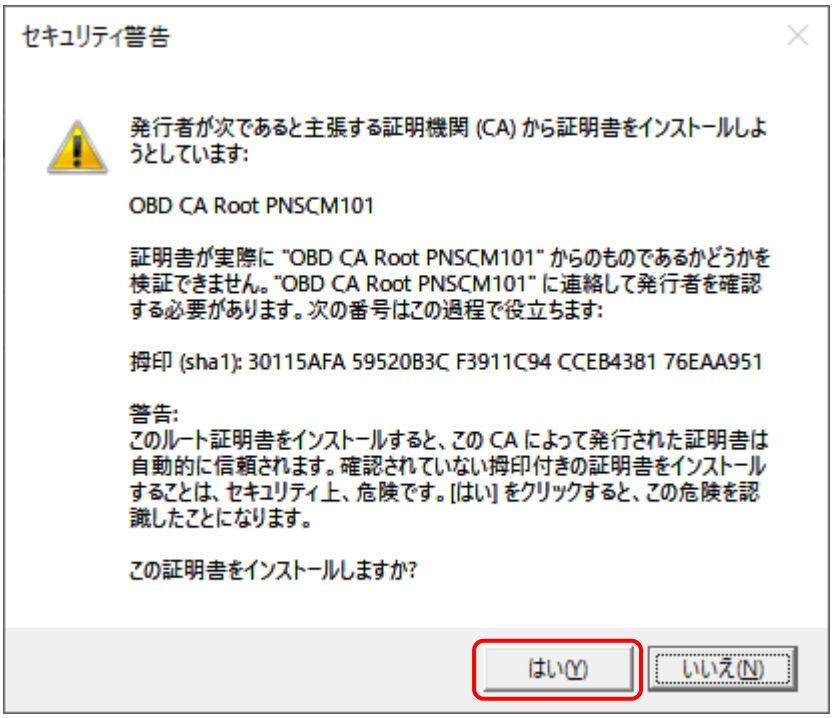
項目	内容
ホスト名を入力	メールに記載されているホスト名を入力します。
HTTPS ポート番号	443（デフォルトで入力されている場合、入力を変更する必要はありません。）

メモ

使用する端末にプロキシが設定されている場合、プロキシサーバーで「ホスト名を入力」の URL への通信許可を行ってください。不明な場合は、所属している組織のネットワーク管理者や通知を管理している部門にお問い合わせください。

4. 「OK」を押す

5. 「はい」を押す



6.　「ユーザー」を押す

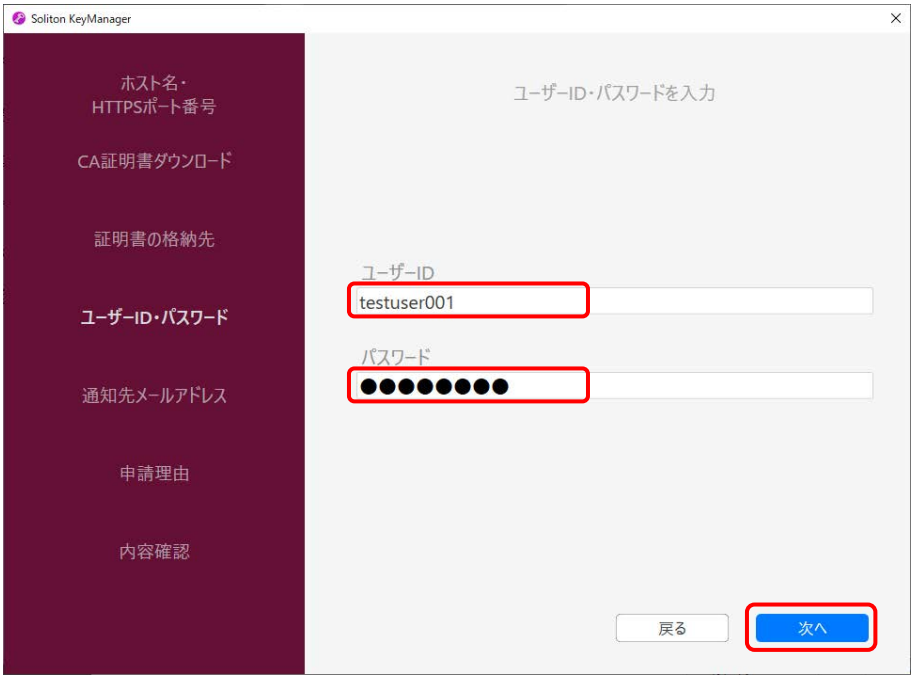
現在ログインしているユーザーの証明書ストアに証明書が格納されます。

ご注意

誤って「コンピューター」を選択した場合は、「戻る」を押して操作をやり直してください。

7.　「ユーザーID」、「パスワード」を入力し、「次へ」を押す

OBD 検査システムから送付されたメールに記載されているユーザーID とパスワード（パスワードはユーザーID と同じ）を入力します。



8. 招待コードを入力し、「次へ」を押す

OBD 検査システムから送付されたメールに記載されている招待コードを入力します。

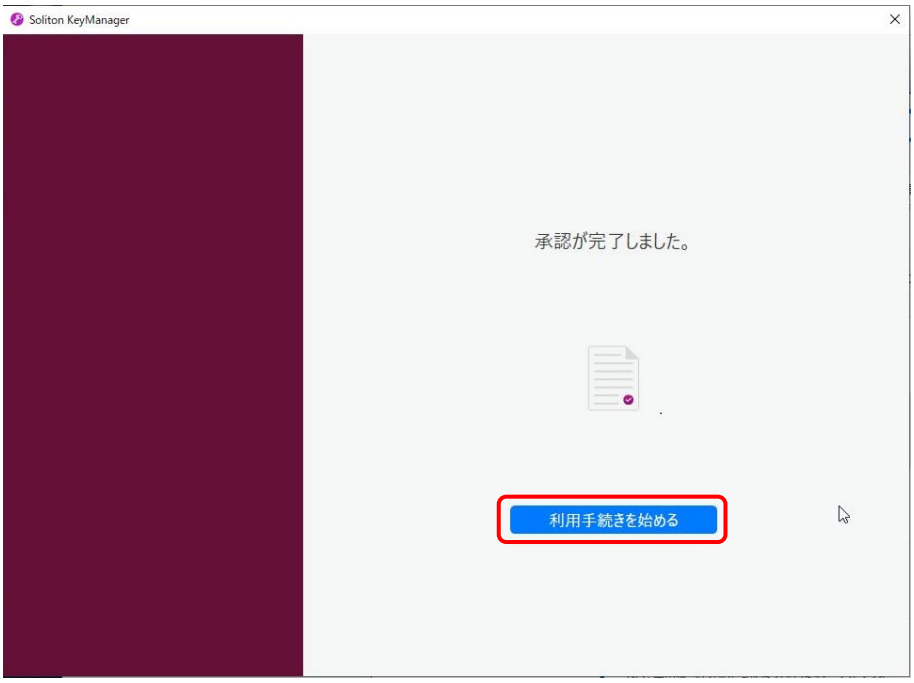
※画面に記載されている招待コードはサンプルです。

メモ

クライアント証明書のインストールに失敗する場合は、以下の方法で対処してください。

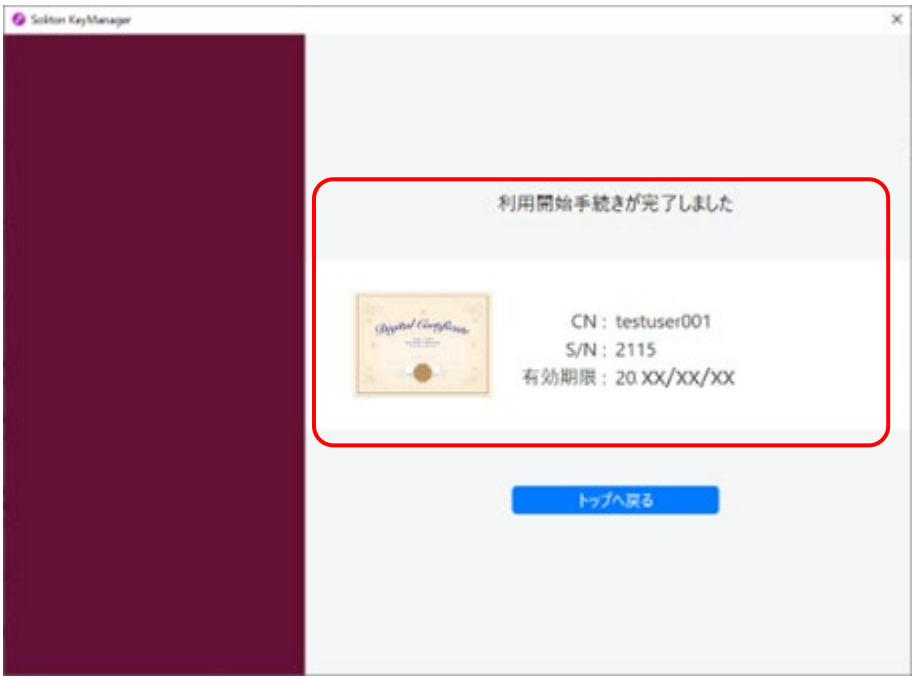
- 利用者管理システムにログインできる管理責任者がいる場合
  利用者管理システムから、クライアント証明書発行依頼を行います。操作方法は
  「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。
- 利用者管理システムにログインできる管理責任者がいない場合
  OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

9. 「利用手続きを始める」を押す



10. ユーザーアカウント制御ダイアログが表示され、アプリ「NetAttest RA Client Admin Module(x86)」による変更の許可を求められた場合「はい」を押す

11. 手続き完了画面が表示されることを確認する



端末の Windows の証明書ストアの「個人」－「証明書」に、ユーザーID のクライアント証明書がインストールされます。

メモ

- インストールしたクライアント証明書は、システムへのアクセス時に表示されます。以下の画面が表示された場合、①の証明書を選択し、②の「OK」を押してください。

- 使用する端末を増やしたい場合や、同じ端末でも異なる Windows アカウントを使用する場合は、クライアント証明書用招待コードが必要です。詳細は、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

以上で、クライアント証明書のインストールの操作は完了です。

クライアント証明書には有効期限があります。「お知らせ」メニューでクライアント証明書更新のお知らせが通知された場合、クライアント証明書を更新してください。更新が必要な場合は、「6.7 クライアント証明書を更新したいとき」を実行してください。

メモ

クライアント証明書が正常にインストールされているかを確認したい場合は、「6.17 クライアント証明書をアンインストールしたいとき」を参照してください。

ご注意

- 一度使用したクライアント証明書用招待コードは再度使用することができません。クライアント証明書用招待コードの再発行については、以下の対応をしてください。
  - 利用者管理システムにログインできる管理責任者がいる場合
    利用者管理システムから、クライアント証明書発行依頼を行います。操作方法は、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。
  - 利用者管理システムにログインできる管理責任者がいない場合
    OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。
- 誤って「コンピューター」を選択した状態で証明書のインストールが完了した場合は、インストールのやり直しが必要です。Soliton KeyManager で誤ったクライアント証明書をアンインストールし、新しい クライアント証明書用招待コードを使用して再度インストールし直してください。
- クライアント証明書のアンインストール方法とインストール方法の詳細については、「6.17 クライアント証明書をアンインストールしたいとき」または「■クライアント証明書をインストールする」（p.71）を参照してください。

ここまでの操作で、システムにログインできる環境が整いました。次の「3.3 初回ログイン（パスワード設定）をする」を参照してシステムにログインし、利用者の登録を行ってください。

3.3　初回ログイン（パスワード設定）をする

ご注意

グループに所属している事業場の管理責任者は、利用者の登録や変更などの管理権限を付与されていない場合、本機能の参照のみできます。
管理責任者への管理権限の付与については、統括管理責任者にお問い合わせください。
統括管理責任者が管理権限を付与する手順については、「5.1 事業場情報を確認・変更する」を参照してください。

本システムへのログインを行う前に、以下を満たしているかチェックしてください。

- ☐ **事業場 ID 申請により事業場登録が完了している**
- ☐ **クライアント証明書をインストールしている**
- ☐ **事業場 ID の申請結果メールが届いている**

[グループ管理の事業場の場合は以下も該当]

- ☐ **利用者の登録を行う管理責任者に管理権限が付与されている**

■本システムにログインする

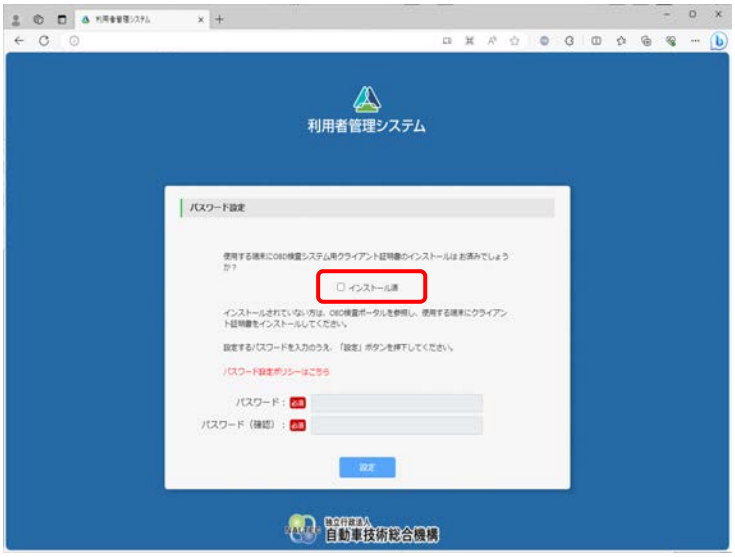
1. 事業場 ID の申請結果のメールに記載されている URL を開く

《パスワード設定》画面が表示されます。

メモ

URL の有効期限が切れてしまった場合は、「■ログインできないときの対処方法」の「初回パスワード設定用の URL 有効期限が切れた、またはメールを紛失した」（P. 26）を参照してください。

2. 「インストール済」にチェックを付ける



クライアント証明書をインストールしていない場合は、「3.2 クライアント証明書をインストールする」を参照してください

3. パスワードを入力し、「設定」を押す

① 「パスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。

② 「パスワード確認」に①で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

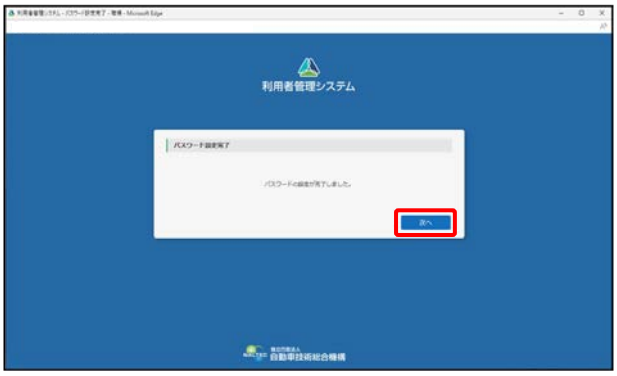
③ 「設定」を押します。

ご注意

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

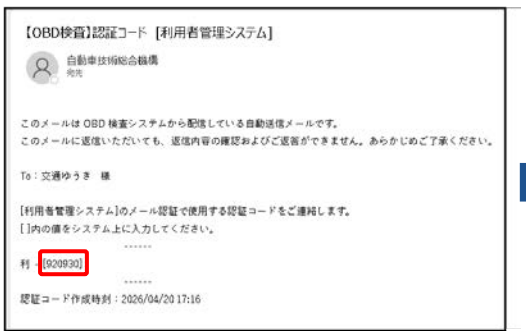
- 以下の 3 種類を、それぞれ 1 文字以上使用すること
  半角英字：A～Z、a～z
  半角数字：0～9
  半角記号：「-」「_」「.」「@」
  例）Abc@92_i
- 8 文字以上 20 文字以下で、ユーザーID と異なる文字列であること

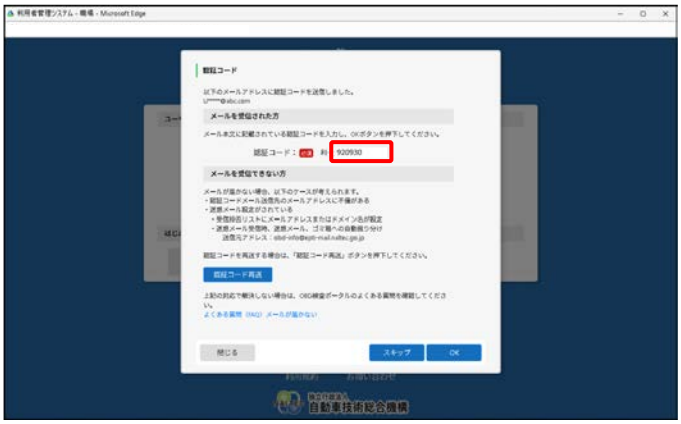
4. 「次へ」を押す



5. 認証コード送信メールに記載されている認証コードを入力し、「OK」を押す

送信先メールアドレスは登録した事業場の管理責任者および統括管理責任者のメールアドレスです。

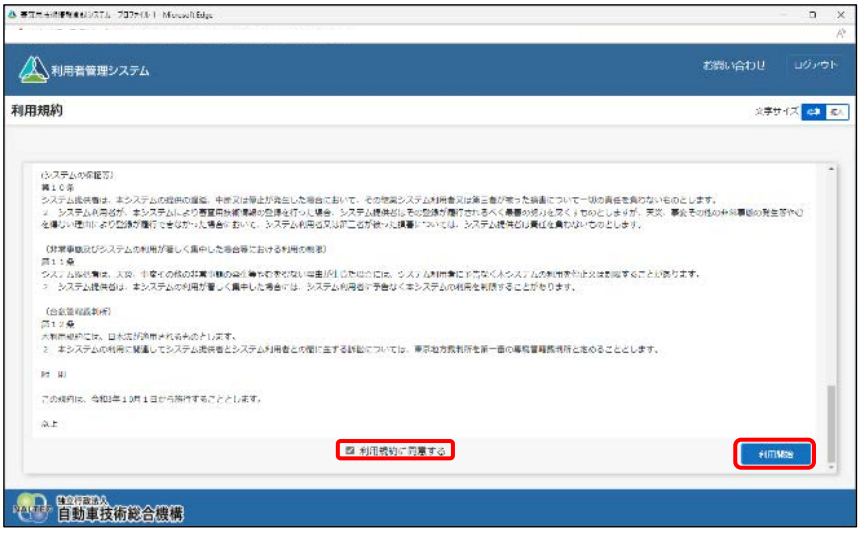




メモ

しばらく経っても認証コードが届かない場合は、「6.21 認証コードが届かないとき」を参照して操作を行ってください。

6. 利用規約を確認後、「利用規約に同意する」にチェックを付け、「利用開始」を押す



初回ログインが完了し、《お知らせ》画面が表示されます。これで、システムをご利用いただける状態になりました。次に、特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムを利用する工員または検査員の情報を登録します。

利用者の登録には、個別登録と一括登録があります。

メモ

以下の画面が表示された場合、①の証明書を選択し、②の「OK」を押してください。

個別登録

利用者を 1 名ずつ登録します。

「利用者を登録する」（P. 88）を参照してください。

一括登録

複数の利用者を一度に登録したい場合に利用します。CSV ファイルを用いた操作となります。

「■利用者を一括登録する」（P. 92）を参照してください。

3.4　利用者を登録する

利用者を個別に登録、または複数の利用者を一度に登録する方法を説明します。

システムにログインし、工員や検査員などの利用者を登録します。登録時に発行されるユーザーID と初期パスワードは、利用者が以下のアプリ・システムのログインをするときに使用(※)します。

(※)いずれも共通のユーザーID と初期パスワードとなります。

- 特定 DTC 照会アプリ
- OBD 検査結果参照システム

ただし、いずれかに初回ログインした際に初期パスワードを変更する必要があるため、初回ログイン後は、発行されたユーザーID と、変更後のパスワードでログインします。

■利用者を個別に登録する

1.　メニューの「特定 DTC 照会アプリ利用者管理」を押し、表示された「特定 DTC 照会アプリ利用者情報」を押す

《特定 DTC 照会アプリ利用者情報》画面が表示されます。

2.　「利用者新規登録」を押す

《利用者情報登録》画面が表示されます。

メモ

本項は、管理責任者の場合の画面例を示しています。統括管理責任者の場合は、追加の検索条件としてグループ内の管理対象事業場の「事業場の名称」を指定できます。

3. 利用者情報を入力する

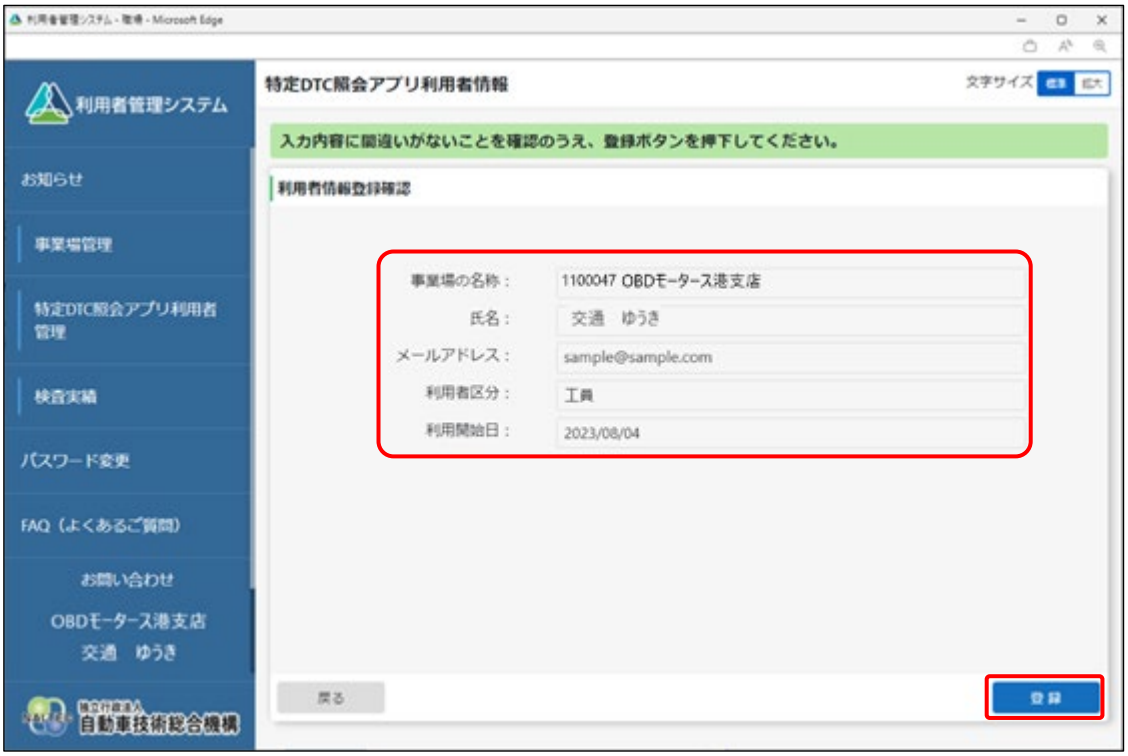
特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムを利用する工員または検査員の情報を入力します。

項目	説明
事業場の名称	統括管理責任者の場合には、利用者を登録する事業場の名称を選択します。 管理責任者の場合は、利用者を登録する事業場が表示されます。
氏名	新規登録する利用者の氏名を入力します。
メールアドレス	新規登録する利用者のメールアドレスを入力します。
メールアドレス（確認）	「メールアドレス」に入力したメールアドレスと同じメールアドレスを入力します。
利用者区分	新規登録する利用者区分を、工員または検査員から選択します。
利用開始日	利用開始日をカレンダーから選択します。選択した日から特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムの利用が可能になります。 **メモ** 新規登録時には、登録した日が利用開始日として選択されています。明日以降に設定したい場合にカレンダーから選択してください。

4.　「確認」を押す

《利用者情報登録確認》画面が表示されます。

5.　入力内容を確認し、「登録」を押す



《利用者情報登録完了》画面が表示され、利用者のユーザーID と初期パスワードが発行されます。

表示されたユーザーID と初期パスワードは特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムのログインに必要な情報です。

この情報を利用者（工員または検査員）にお知らせください。

なお、ユーザーID と初期パスワードは、「特定 DTC 照会アプリ利用者情報」のメニューから確認できます。確認方法については、「4.3 登録されている利用者を確認する」を参照してください。

ご注意

- 特定 DTC 照会アプリの初期パスワードの有効期限は、 設定した利用開始日から 30 日間です。
  初期パスワードの有効期限が切れた場合は、「6.3 利用者がパスワードを忘れたとき」を参照してパスワードの初期化を行ってください。

以上で、特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムの利用者情報の個別登録の操作は完了です。

■利用者を一括登録する

1. メニューの「特定 DTC 照会アプリ利用者管理」を押し、表示された「特定 DTC 照会アプリ利用者情報」を押す

《特定 DTC 照会アプリ利用者情報》画面に、登録されている利用者がすべて一覧で表示されます。

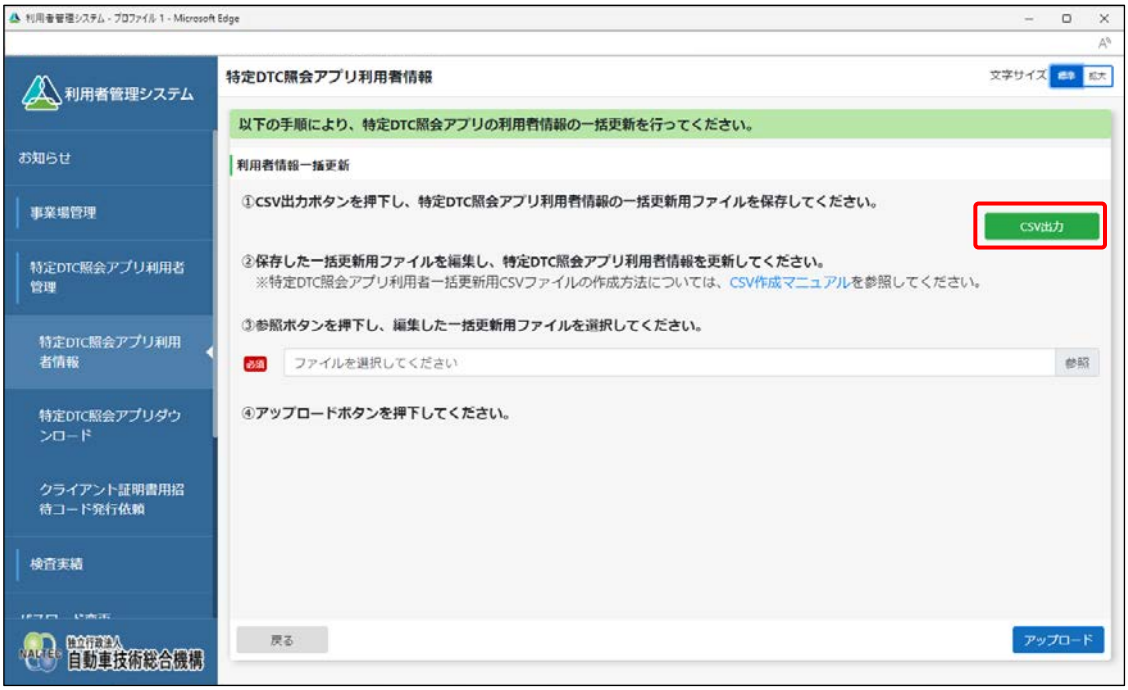
2. 「利用者一括更新」を押す

《利用者情報一括更新》画面が表示されます。

メモ

ユーザーが管理責任者か統括管理責任者かによって、表示されるメニュー項目が異なります。本項は、管理責任者の場合の画面例を示しています。

3. 「CSV 出力」を押す



ダウンロードしたファイルを確認します。

ファイル名：APPLIUSER_UPDATELIST_［年月日時間］.csv

なお、すでに登録している場合にはこのファイルに利用者情報が記載されています。

ご注意

- 出力に数秒時間を要します。連続で「CSV 出力」を押さないでください。
- 利用者情報には個人情報が含まれている場合があるため、取り扱いには十分注意してください。

メモ

「CSV 作成マニュアル」を押すと、利用者情報一括更新用 CSV ファイルの作成方法が記載されたマニュアルをダウンロードできます。

4. ダウンロードした CSV ファイルを開く

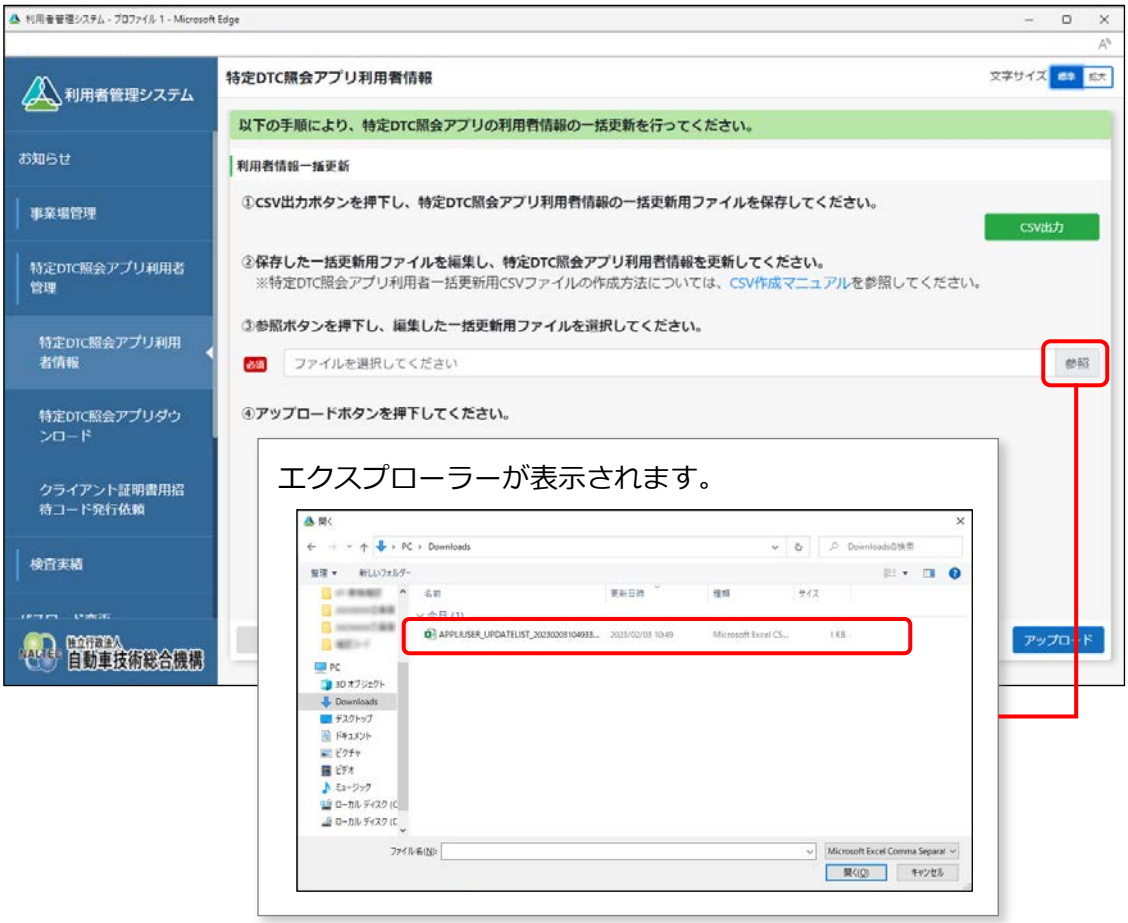
5. 出力した CSV ファイルの利用者情報を変更する

CSV ファイルの変更方法については、『CSV ファイル作成方法マニュアル』を参照してください。

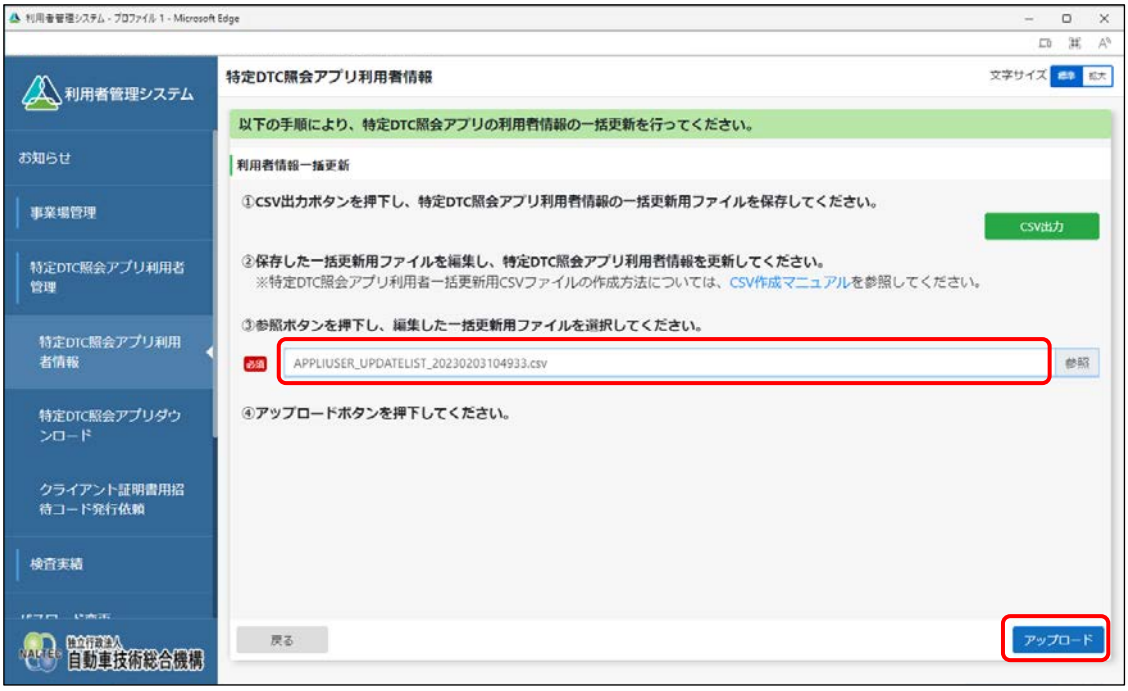
ご注意

CSV ファイルの編集では、利用者情報の削除もできます。誤って削除しないよう注意してください。

6. 利用者情報一括更新用 CSV ファイルの作成が完了したのち、「参照」を押して当該ファイルを選択する

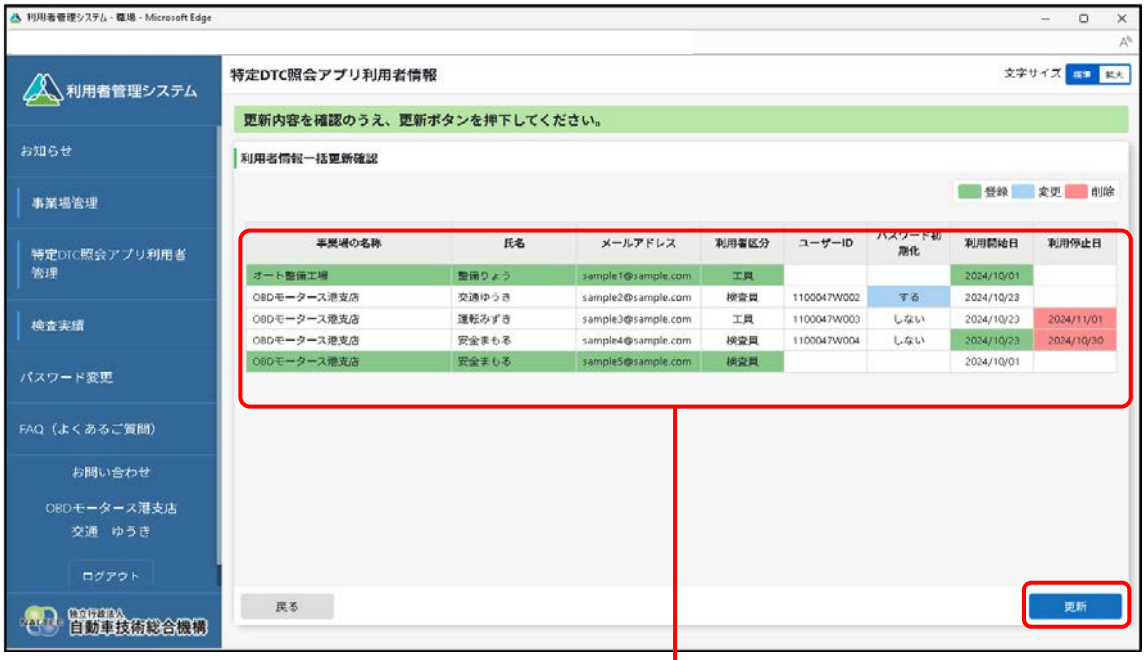


7.　選択した利用者情報一括更新用 CSV ファイルのファイル名が表示されていることを確認し、「アップロード」を押す



《事業場一括更新確認》画面が表示されます。

8. 内容を確認し、「更新」を押す



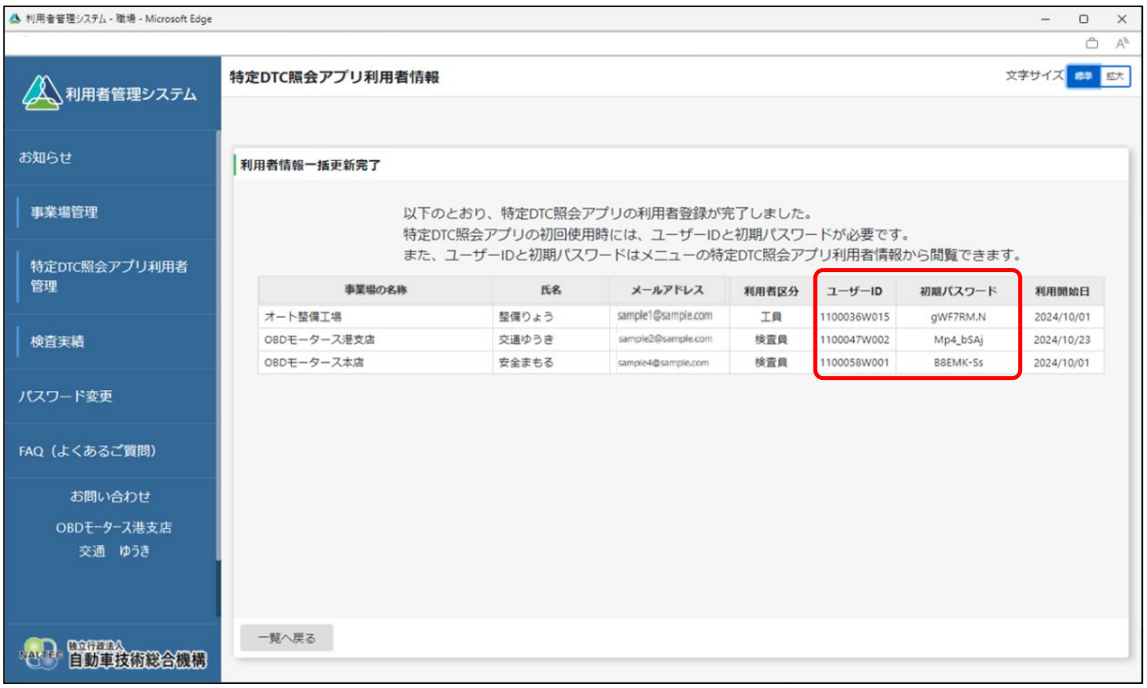
一覧表では、更新によって変更される情報のセルが以下の色で示されます。

緑色：追加

水色：変更

赤色：削除

《利用者情報一括更新完了》画面が表示され、新規登録した利用者のユーザーID と初期パスワードが発行されます。



表示されたユーザーID と初期パスワードは、特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムのログインに必要な情報です。

この情報を利用者（工員または検査員）にお知らせください。

なお、ユーザーID と初期パスワードは、特定 DTC 照会アプリ利用者情報のメニューから確認できます。確認方法については、 「4.3 登録されている利用者を確認する」を参照してください。

以上で、特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムの利用者情報の一括登録の操作は完了です。

登録した利用者の管理については、以下を参照してください。

- 管理責任者の場合： 「4.3 登録されている利用者を確認する」以降の記載
- 統括管理責任者の場合： 「5.5 登録されている利用者を確認する」以降の記載

3.5　特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

特定 DTC 照会アプリをダウンロードします。ダウンロードした特定 DTC 照会アプリは、各事業場で使用する検査用スキャンツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）に展開します。

■利用者管理システムで特定 DTC 照会アプリをダウンロードする

1.　メニューの「特定 DTC 照会アプリ利用者管理」を押し、表示された「特定 DTC 照会アプリダウンロード」を押す

《特定 DTC 照会アプリダウンロード》画面が表示されます。

2.　「ダウンロード」を押す

特定 DTC 照会アプリがダウンロードされます。

■ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを検査用スキャンツールの端末に展開する

ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを、検査用スキャンツールの端末（PC またはタブレット）にメールや USB メモリなどで展開します。

続いて、検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリのインストールを行う場合は、「3.6 検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリをインストールする」を参照してください。

ご注意

同一拠点で複数の端末を使用する場合は、クライアント証明書の追加発行の申請を行ってください。詳細については、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

3.6　検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリをインストールする

特定 DTC 照会アプリをインストールする端末は、以下の動作環境を満たす必要があります。

- CPU　1GHz 以上
- メモリ　2GB 以上
- ディスク　C ドライブ空き容量 1 GB 以上
- OS　Microsoft Windows 11（Home または Pro）

メモ

バージョンの詳細については OBD 検査ポータルを参照してください。

- ソフトウェア　.NET Framework 4.6.2 以上
  Microsoft Visual C++再頒布可能パッケージ（2017 以上）32bit 版

メモ

ソフトウェアのバージョンを確認するには、Windows のスタートボタン→「設定」→「アプリ」→「アプリと機能」の順に選択し、確認したいソフトウェアを選択します。

- ネットワーク通信　有線または無線でインターネット接続が可能であること

ご注意

事業場内の PC 権限設定等によりインストールができない場合は、各事業場のシステム担当者にお問い合わせください。

■クライアント証明書をインストールする

特定 DTC 照会アプリをインストールする端末に、クライアント証明書をインストールします。
クライアント証明書のインストールには、別途、クライアント証明書用招待コードとユーザーID が必要です。
インストール方法については、「6.5 使用する機器を増やしたいとき」を参照してください。

メモ

Windows アカウントの共有はセキュリティ観点から推奨しておりません。

■特定 DTC 照会アプリをインストールする

ダウンロードした特定 DTC 照会アプリを、検査用スキャンツールの端末にインストールします。

1. 特定 DTC 照会アプリのインストール用ファイル「OBD_KENSA_●.●.●.●_x86.msix」を実行する

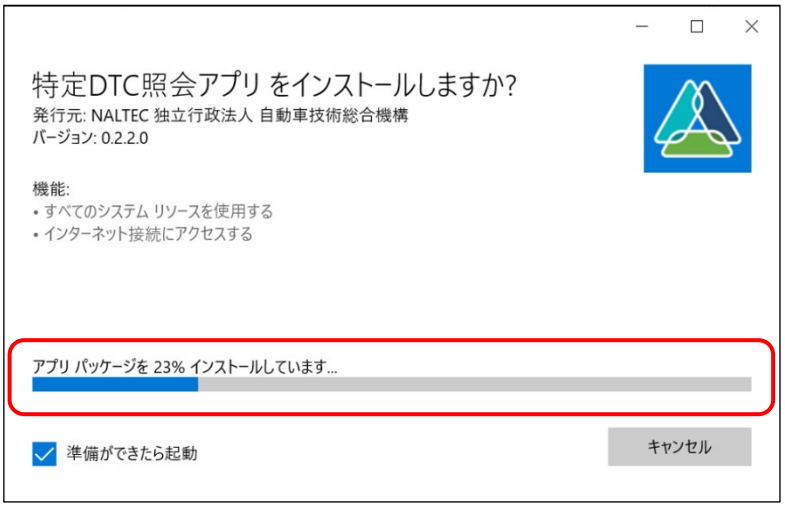
メモ

- ファイルを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、ファイル名をダブルクリックします。
- 「●.●.●.●」の部分は、バージョンによって変わります。

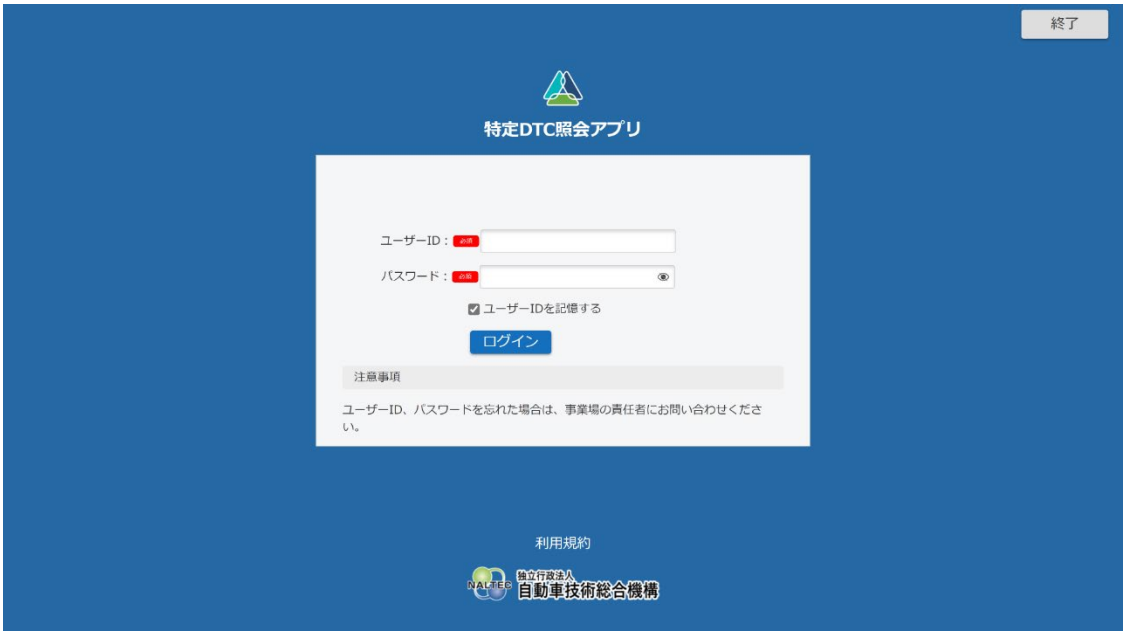
「特定 DTC 照会アプリをインストールしますか？」というダイアログが表示されます。

2. 「インストール」を押す

インストールが開始されます。



インストールが完了すると、ログイン画面が表示されます。



以上で、特定 DTC 照会アプリのインストールの操作は完了です。操作方法については、『特定 DTC 照会アプリ 操作マニュアル』を参照してください。

メモ

特定ＤＴＣ照会アプリにログインするためには、利用者を登録する必要があります。利用者の登録方法は「3.4 利用者を登録する」を参照してください。